

水

第28回

シンポジウム

2024 in ながの

治水 ONE NAGANO

～令和元年東日本台風から5年 未来に向け私たちが学んだこと～

実施報告書

- シンポジウム : 令和6年10月31日 (木)
- 現地見学会 : 令和6年11月 1日 (金)

「第28回水シンポジウム2024inながの」実行委員会

「第28回水シンポジウム2024inながの」開催運営支援業務 受注者

 株式会社
KYOITZ 株式会社 共立プランニング

【目次】

大会概要	2
開催趣旨	3
プログラム	4
シンポジウム		
開会	5
講演	7
総括・次回開催県挨拶	15
同録動画Youtube	16
パネル展示	17
ブース展示	18
会場風景	19
懇親会	21
現地見学会	22
来場者アンケート	23
報道実績	33
当日配布物及び設置看板等	35
広報宣伝	37
参考資料		
実行委員会規約		
実行委員・事務局名簿		
企画書		
実行委員会等活動状況		

【大会概要】

名称	第28回 水シンポジウム2024 in ながの
メインテーマ	治水 ONE NAGANO ～令和元年東日本台風から5年 未来に向け私たちが学んだこと～
会期	2024年10月31日（木）13:00～17:30（開場 11:30～） 2024年11月 1日（金） 9:00～17:10（8:50集合）
会場	10月31日（木） /シンポジウム 長野市若里市民文化ホール /懇親会 ホテルメトロポリタン長野（立食形式） 11月 1日（金） /現地見学会 日本無線（株）,NiKKI Fron（株）,浅川排水機場 千曲市大洪水水位標（妙笑寺）,千曲川決壊現場（長野市穂保）
参加方法	ホームページ（ https://mizusympo2024.sakura.ne.jp/ ）から申し込み。 または電話（026-235-7310）申し込み
申し込み締切	【シンポジウム】 : 締切日/10月18日（金） 【現地見学会、懇親会】 : 締切日/ 9月27日（金）
参加料	【シンポジウム】 10月31日（木） : 無料 【懇親会】 10月31日（木） : 7,000円 【現地見学会】 11月 1日（金） : 高校生以上 : 2,000円 小中学生 : 1,800円
主催	「第28回水シンポジウム2024 in ながの」実行委員会 構成団体：公益社団法人土木学会水工学委員会、信州大学工学部流域治水研究センター、 国土交通省北陸地方整備局、長野県、長野市、長野SDGs地域防災プロジェクト
助成	（公財）河川財団（河川基金）、（一財）防災研究協会、（一社）北陸地域づくり協会 信州大学グリーン社会協創機構地域防災減災センター、長野県河川協会
後援	（一社）長野県建設業協会、（一社）長野県測量設計業協会、 （一社）建設コンサルタンツ協会関東支部長野地域委員会、歴史的水害資料活用研究会
来賓	長野県知事（ビデオメッセージ）、長野市長、国土交通省北陸地方整備局長（代理 河川部長）
講演内容	該当ページ参照
その他	C P D 認定 ※シンポジウム : 3.5単位、現地見学会 : 5.0単位
シンポジウム 来場者	約320人
展示	・パネル展示（ホワイエ）24枚（無料） ・ブース展示（会議室）9ブース（3万円/ブース）
配信	オンデマンド配信（後日）
懇親会参加者	45人
現地見学会 参加者	41人
広報	チラシ、ポスター、ホームページ、SNS広告（Facebook・Instagram）、 Googleディスプレイ広告、Yahoo!ディスプレイ広告、信濃毎日新聞広告

【開催趣旨】

治水 ONE NAGANO

～令和元年東日本台風から5年 未来に向け私たちが学んだこと～

近年、気候変動に伴う自然災害が全国各地で激甚化、頻発化しており、長野県でも令和元年東日本台風（台風第19号）の際は、多くの地点で、総雨量が観測史上1位を更新するなど、記録的な大雨と甚大な被害をもたらしました。

災害からの復旧・復興は「ONE NAGANO～想いをひとつに～」というメッセージを掲げ取組み、さらに、国、県、市町村が連携して「信濃川水系緊急治水対策プロジェクト」のもと、河川のハード対策と地域連携による流域・ソフト対策を一体的かつ緊急的に進めています。

また、県ではあらゆる関係者が協働し流域全体で水害を軽減させる「流域治水」の取組を拡大するため、多くの県民が参画し力強く推進する意を込め、「治水ONE NAGANO」を宣言し、流域治水の取組を計画的かつ集中的に推進しています。

流域治水の推進には、皆様の参画が必要です。令和元年東日本台風から5年という節目の年に長野県で開催される水シンポジウムでは、災害からの復旧・復興や流域治水の取組などを全国へ発信し、災害を自分事として捉え、今後の防災・減災のあり方や流域治水について考える契機となることを期待します。



千曲川長野市穂保決壊現場

● 実行委員長 泉 典洋

土木学会水工学委員会は1996年より全国で水シンポジウムを開催していますが、28回目の今回を長野で開催させて頂くこととなりました。長野は古くから水害に悩まされてきた土地です。5年前の台風でも千曲川が決壊し大きな被害が発生しています。温暖化によって水害がさらに激しくなる中、長野県では「治水ONENAGANO」を合言葉に堤防やダムだけに頼らない流域治水を進めています。このシンポジウムで、過去の水害の教訓をいま一度思い起こし、流域治水への理解を一層深めて頂けると幸いです。



【プログラム】

●10月31日（木）シンポジウム（会場：長野市若里市民文化ホール）

- 11:30 ・開場（パネル展示、ブース展示の見学）
- 13:00 ・開会
- 13:30 ・特別講演「長野県の水害と伝承」
長野県立歴史館長・信州大学名誉教授 笹本 正治
- 14:00 ・基調講演「コミュニティ防災の支援ツールとしてのタイムライン」
東京大学大学院情報学環総合防災情報研究センター客員教授 松尾 一郎
- 14:55 ・休憩（パネル展示、ブース展示の見学）
- 15:25 ・「暮らしを支える水理学概説」日本大学理工学部教授 高橋 正行
- 15:40 ・「土木学会水工学委員会による令和元年千曲川災害調査」
信州大学工学部教授 吉谷 純一
- 15:55 ・「平時を楽しみ有事に備える！」
一般財団法人日本笑顔プロジェクト代表理事 林 映寿
- 16:15 ・「水害経験からのレジリエンスとサステナブル経営への取組」
NiKKi Fron 株式会社代表取締役社長 春日 孝之
- 16:35 ・「小学生を対象とする防災・ラジオ工作教室」
長野SDG s 地域防災プロジェクト 高橋 修一
- 16:55 ・「流域治水の取組」長野県建設部河川課長 江守 護
- 17:10 ・総括 実行委員長 泉 典洋
- 17:20 ・次回開催県挨拶 山梨県県土整備部技監 若尾 洋一
- 17:30 ・閉会（18:00までパネル展示、ブース展示の見学）

●11月1日（金）現地見学会

見学場所： 日本無線（株）、NiKKI Fron（株）、浅川排水機場
千曲市大洪水水位標（妙笑寺）、千曲川決壊現場（長野市穂保）



千曲市大洪水水位標（妙笑寺）



千曲川決壊現場（長野市穂保）

【シンポジウム：開会】

●来場者数：約320人



●開式挨拶

実行委員長 泉 典洋 氏



●実行委員紹介

実行委員長 北海道大学 泉 典洋 氏

京都大学防災研究所 佐山 敬洋 氏

日本大学理工学部 高橋 正行 氏

国土交通省 北陸地方整備局河川部 木村 勲 氏

国土交通省北陸地方整備局千曲川建設事務所 浅見 和人 氏

長野県建設部 新田 恭士 氏

長野市建設部 横田 典久 氏

長野SDGs地域防災プロジェクト 高橋 修一 氏



【シンポジウム：開会】

●来賓あいさつ

長野県知事 阿部 守一 様（ビデオレター）



長野市長 荻原 健司 様



国土交通省北陸地方整備局長（代理）河川部長 木村 勲 様



【シンポジウム：講演】

●特別講演

長野県立歴史館長・信州大学名誉教授

笹本 正治 氏

「長野県の水害と伝承」

(講演概要 ※当日資料パンフより)

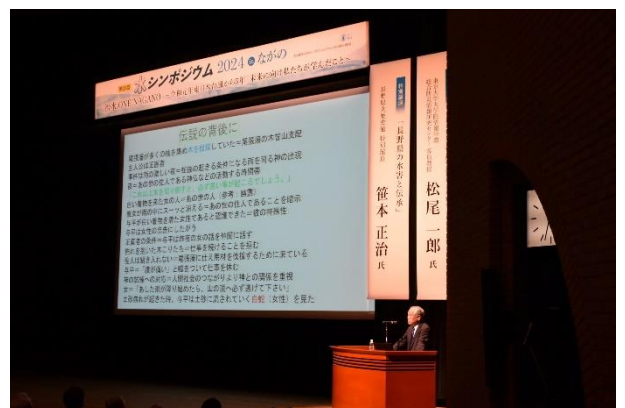
「長野県は広域なので、地域によって水害の様相も伝承も様々です。

①木曾地方の蛇拔(土石流)伝承②天竜川の災害伝承③松本のフランス式階段工④千曲川の災害伝承⑤諏訪信仰・戸隠信仰、についてお話しします。」



長野県の水害と伝承

長野県立歴史館特別館長
笹本正治



【シンポジウム：講演】

● 基調講演

東京大学大学院情報学
環総合防災情報研究センター客員教授
松尾 一郎 氏

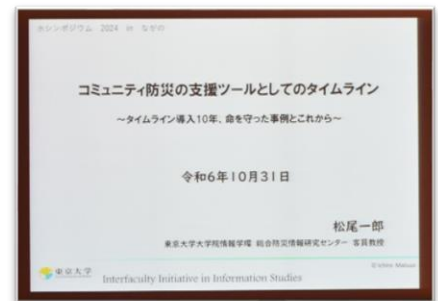


「コミュニティ防災の支援ツールとしてのタイムライン」 ～タイムライン導入10年、命を守った事例とこれから～

(講演概要 ※当日資料パンフより)

「タイムラインとは、災害の発生を前提に、防災関係機関が連携して災害時に発生する状況を予め想定し共有した上で、「いつ」、「誰が」、「何をするか」に着目して、防災行動とその実施主体を時系列で整理した計画です。

タイムライン防災が始まり10年。国の防災基本計画にタイムラインを明記することが示されました。国民を災害から守るため国・都県・市町村・町内会・家族単位でのタイムライン導入がなぜ必要なのか述べます。」



【シンポジウム：講演】

●講演 1

日本大学理工学部教授
高橋 正行 氏

「暮らしを支える水理学概説」

(講演概要 ※当日資料パンフより)

「水は人類の生存のために必要不可欠です。水の
流れを知ることは人々の暮らしを安全で豊かなもの
にするために必要であり、このための学問が水理学
です。暮らしを支えている水理学の事例の一部を紹介
します。」



【シンポジウム：講演】

●講演 2

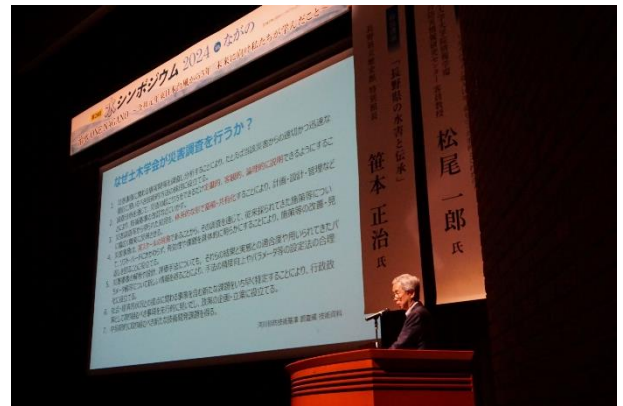
信州大学工学部教授

吉谷 純一 氏

「土木学会水工学委員会による令和元年千曲川災害調査」

(講演概要 ※当日資料パンフより)

「調査団が実施した令和元年の千曲川災害調査結果から、豪雨、河道内の地形変化、氾濫、避難行動について紹介します。さらに、この5年間における水害対策技術や取り組みの進展についての見解を述べます。」



【シンポジウム：講演】

●講演 3

一般財団法人日本笑顔プロジェクト代表理事
林 映寿 氏

「平時を楽しみ有事に備える！」

(講演概要 ※当日資料パンフより)

「2019年台風災害の教訓から2020年10月に重機や四輪バギー、チェンソーなど災害時に必要とされる資格やトレーニングができる「防災パークnuovo（ノーボ）」を開設。著名アスリートやメダリストも訪れ、早くも2000人以上が資格を取得し社会貢献活動に役立てています。今後、全国47都道府県に拠点を増やすことが目標です。」



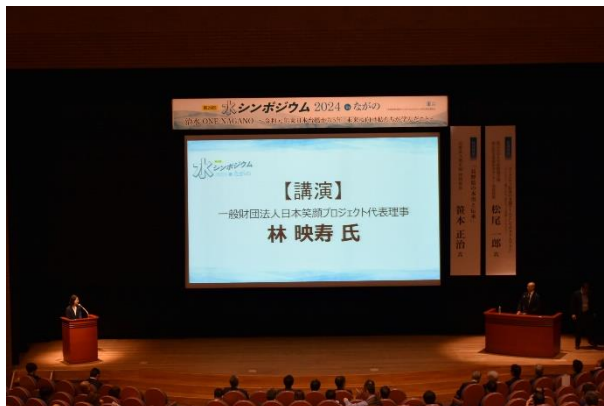
平時を楽しみ有事に備える

～気候変動の適応に民間でどう立ち向かうか～



NIHON EGAO FOUNDATION

一般財団法人日本笑顔プロジェクト



【シンポジウム：講演】

●講演 4

NiKKi Fron株式会社代表取締役社長

春日 孝之 氏

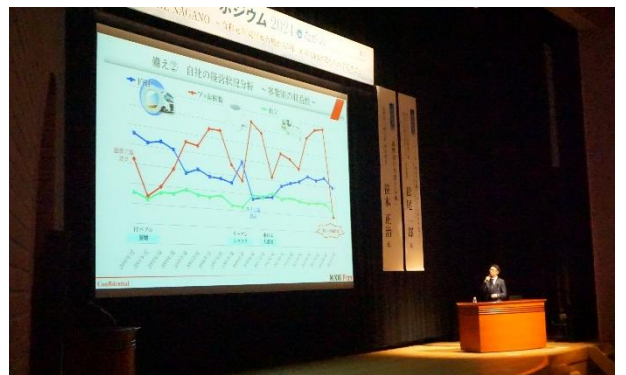
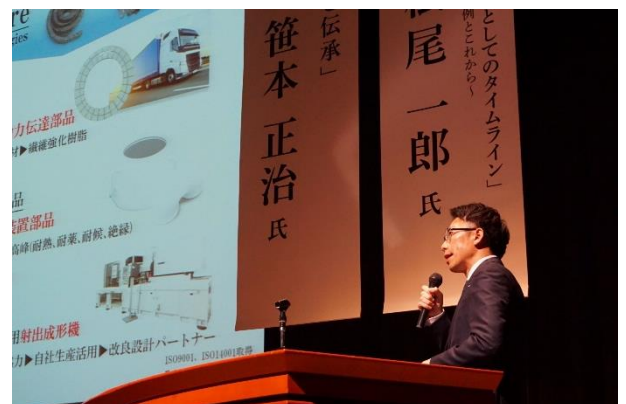


「水害経験からのレジリエンスとサステナブル経営への取組」

(講演概要 ※当日資料パンフより)

「長野市穂保に本社を置き、主に半導体製造装置向けフッ素樹脂製品の成形・加工を行っています。令和元年東日本台風の千曲川決壊で本社が水没し全生産機能を失いましたが、2021年3月には被災前レベルまで回復。その後、新たな成長へと移行しております。

被災直後の動き、BCPの効果、教訓など、被災経験と成長戦略をご紹介します。」



【シンポジウム：講演】

●講演 5

長野SDGs 地域防災プロジェクト

高橋 修一 氏

「小学生を対象とする防災・ラジオ工作教室」

(講演概要 ※当日資料パンフより)

「信州防災『逃げ遅れゼロ』」を目指して取り組んでいる「長野SDGs 地域防災プロジェクト」の活動である「防災教室」や「防災・ラジオ工作教室の活動」について、これまでの実績と今後の活動についてご紹介します。」



【シンポジウム：講演】

●講演 6

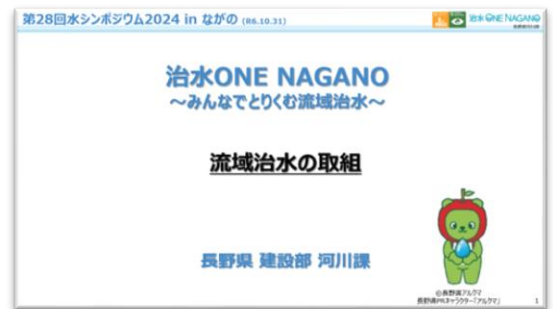
長野県建設部河川課長

江守護 氏

「流域治水の取組」

(講演概要 ※当日資料パンフより)

「気候変動の影響により頻発化・激甚化している水災害に対して、川とともに暮らす地域住民や企業、行政など全員が協働して治水対策を行う「流域治水」の推進と、長野県における流域治水の具体的な取組を紹介します。」



【シンポジウム：総括・次回開催県挨拶】

●総括

実行委員長 泉 典洋 氏



実行委員長から、各講演に対しての感想・共感、防災減災に関わる新たな気づきが述べられ、最後に、これからの防災減災に資する流域治水を推進するためには、いかに自分事として捉えられるかという観点が重要であり、あらゆる関係者をターゲットとした防災教育や啓発活動の必要性の提言で締めくくられた。



●次回開催県挨拶

山梨県県土整備部技監 若尾 洋一様（代理 治水課長補佐 今村 慎様）



山梨県の地理や河川環境、および治水事業の歴史、山梨県の物産・観光に関する紹介がされ、次年度大会への来訪の期待で締めくくられた。

【シンポジウム：同録動画Youtube】

●シンポジウム 全編同録動画

【 Youtubeチャンネル「治水 ONE NAGANO」に動画公開 】

<https://www.youtube.com/watch?v=XpLUGmWzrnM>

A screenshot of a YouTube video player. The video title is "第28回水シンポジウム 2024 in ながの". The channel name is "治水 ONE NAGANO" with 39 subscribers. The video has 99 views and was uploaded on 2024/11/29. The video player shows a progress bar at 0:00 / 3:58:00. The video content shows a blue and white graphic with the text "水シンポジウム 2024 in ながの".

第28回水シンポジウム 2024 in ながの

治水 ONE NAGANO
チャンネル登録者数 39人

チャンネル登録

0 共有 保存

99 回視聴 2024/11/29

00:01:29 開式挨拶

00:08:04 実行委員紹介

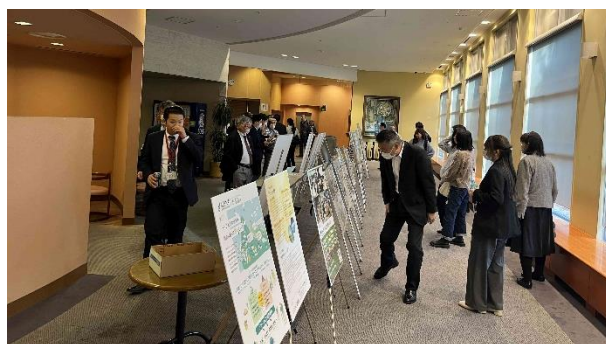
00:10:41 来賓挨拶 長野県知事 阿部守一様

【シンポジウム：パネル展示】

● 展示風景

土木学会、行政、関係団体の活動内容や事業紹介のポスターパネルを展示。

入口受付からシンポジウム会場（ホール）への動線上に配置。多くの来場者が足を停めて見学された。



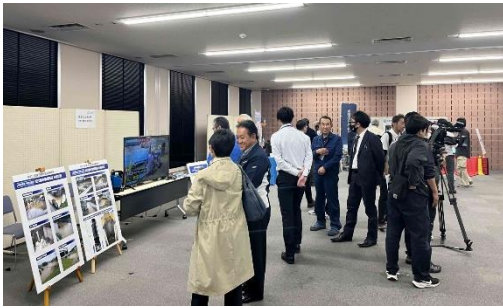
◆ パネル展示団体

土木学会水工学委員会、信州大学工学部流域治水研究センター、信州大学地域防災センター、国土交通省各地方整備局千曲川河川事務所、長野県、長野市、信大クリスタルラボ、歴史的水害史料活用研究会

【シンポジウム：ブース展示】

●ブース展示風景

水に関わる取組み（治水・利水・環境）や防災に関する取組みをしている企業・団体の活動内容や事業・製品を紹介。製品や模型等を見ながら、各出展者による対面説明の場となり盛況であった。



長野SDGs地域防災プロジェクト



日本無線（株）



東亜工機（株）・（株）鶴見製作所



城東リボン（株）



ダイネックス（株）長野支店



信州大学アクア・リジェネレーション機構



信大クリスタルラボ



ヴェルヌクリスタル（株）



【シンポジウム：会場風景 1ページ目/ 2ページ】

立て看板（会場入り口）



立て看板（エントランスホール）



イベント案内掲示（エントランス）



駐車場誘導



駐車場誘導



シャトルバス



受付



受付



【シンポジウム：会場風景 2ページ目/ 2ページ】

受付



受付時配布



ホール関係者席



ステージ吊り看板・垂れ幕



登壇者用控室



映像配信・録画卓



CPD受講証受付



CPD受講証受付



【シンポジウム：懇親会】

- 会場 : ホテルメトロポリタン長野
- 時間 : 18:30～
- 参加料金 : @7,000円
- 参加人数 : 45人

当日行われたシンポジウムに対する感想や、水に関する話題での意見交換などで有意義な場となった。



【現地見学会】

- 日時 : 2024年11月1日 9:00出発～17:10解散
- 発着場所 : 長野駅東口ユメリアバスパーク
- 参加料金 : 高校生以上@2,000円 小中学生@1,800円
- 参加人数 : 41名 ※参加者は大人のみ

令和元年東日本台風により被災した場所や、治水のための施設、防災機器製造会社などを実際に巡り、長野県の災害の歴史やこれからの防災減災について、理解を深めた。

日本無線（株）（防災機器についての学び）



Nikki Fron（株）（製造業における水害への備え・対応の学び）



浅川排水機場（施設の治水における役割の学び）



千曲川決壊現場（長野市穂保）（堤防決壊箇所の復旧状況や治水対策の学び。）



妙笑寺・「千曲川大洪水水位標」（水害史や令和元年の災害状況の学び。）



【来場者アンケート】

- 方法 : Googleフォームのアンケートから入力・送信
- お願い方法 : Googleフォームに遷移する二次元コードを記載した

「アンケートご協力のお願い」チラシを受け付け時に配布

第28回水シンポジウム2024inながの アンケート

* 必須の質問です

住所（都道府県）
選択

年代
選択

職業・所属
選択

特別講演「長野県の水害と伝承」について

	満足	やや満足	どちらとも言えない	やや不満	不満
5段階評価	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

基礎講演「コミュニティ防災の実践ツールとしてのタイムライン」について

	満足	やや満足	どちらとも言えない	やや不満	不満
5段階評価	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

各講演について

	満足	やや満足	どちらとも言えない	やや不満	不満
5段階評価	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

興味深かった講演名をお答えください。(いくつでも)

- 長野県の水害と伝承
- コミュニティ防災の実践ツールとしてのタイムライン
- 暮らしを支える水防学概論
- 土木学会水工学委員会による令和元年千曲川災害調査
- 平時を楽しみ/有事に備える!
- 水害経験からのレジリエンスとサステナブル経営への取組
- 小学生を対象とする防災・ラジオ工作教室
- 流域治水の取組

シンポジウムに対する満足度は？ *

	満足	やや満足	どちらとも言えない	やや不満	不満
5段階評価	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

シンポジウムに参加されて、災害について知り、防災意識は高められましたか？ *

	とても高まった	高まった	どちらとも言えない	あまり変わらない	変わらない
5段階評価	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

流域に住む全員で取り組む流域治水について関心は高まりましたか？ *

	とても高まった	高まった	どちらとも言えない	あまり変わらない	変わらない
5段階評価	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

このシンポジウムをどこで知りましたか？ (いくつでも) *

- ホームページ
- チラシ
- ポスター
- SNS・WEB広告
- 知人の紹介
- 新聞・広報誌
- その他: _____

来場した目的はなんですか？ (いくつでも) *

- 流域治水に興味があったから
- 展示物に興味があったから
- 講演に興味があったから
- 家族・友人・知人に誘われたから

来年も「水シンポジウム」に参加したいですか？ *

- 会場にて参加したい
- オンラインで参加したい
- 参加する予定はない

今回のシンポジウムについてご意見・ご感想をお聞かせください。

回答を入力

今後のシンポジウムで取り上げて欲しいテーマ、講師等、ご希望がありましたら教えてください。

回答を入力

送信 フォームをクリア

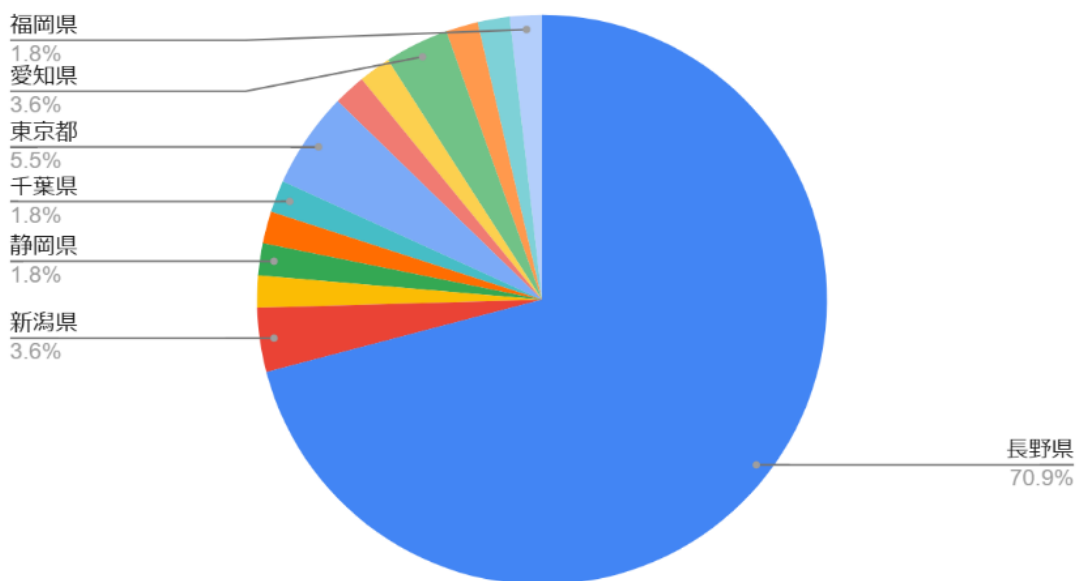
Google フォームでパスワードを保護していません。 本行(株)の報告・利用開始・プライバシーポリシー

Google フォーム

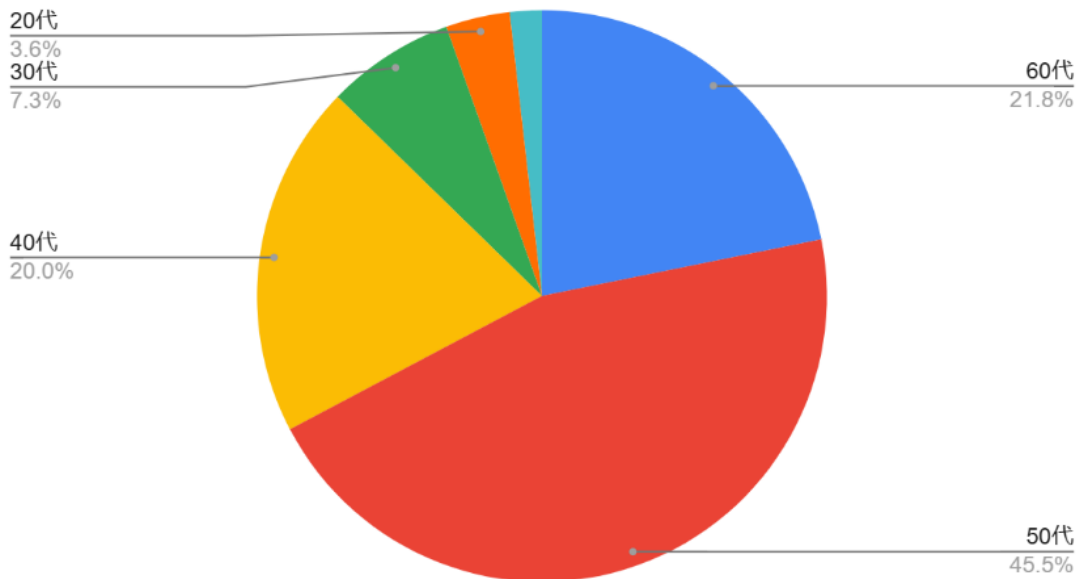
【来場者アンケート：集計結果 1ページ目/ 9ページ】

●回答数 : 55件

住所（都道府県）



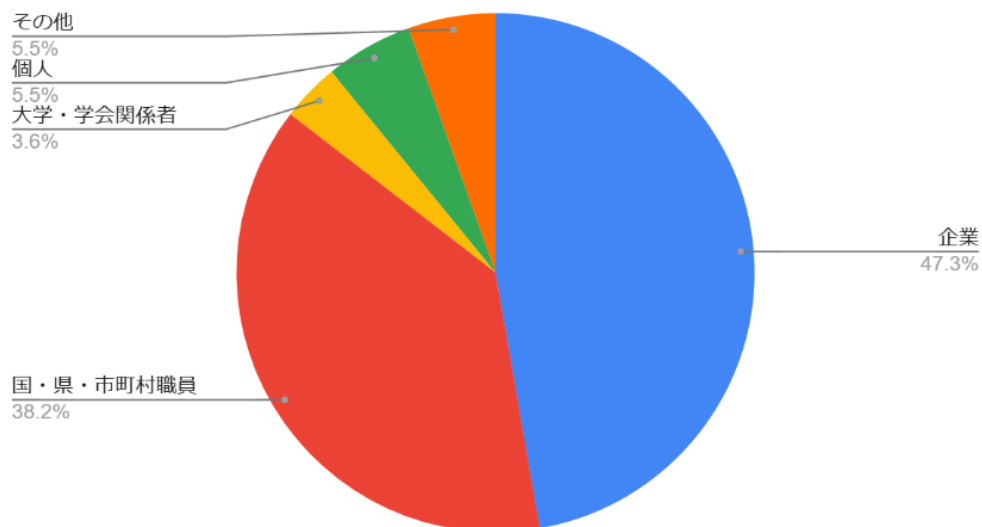
年代



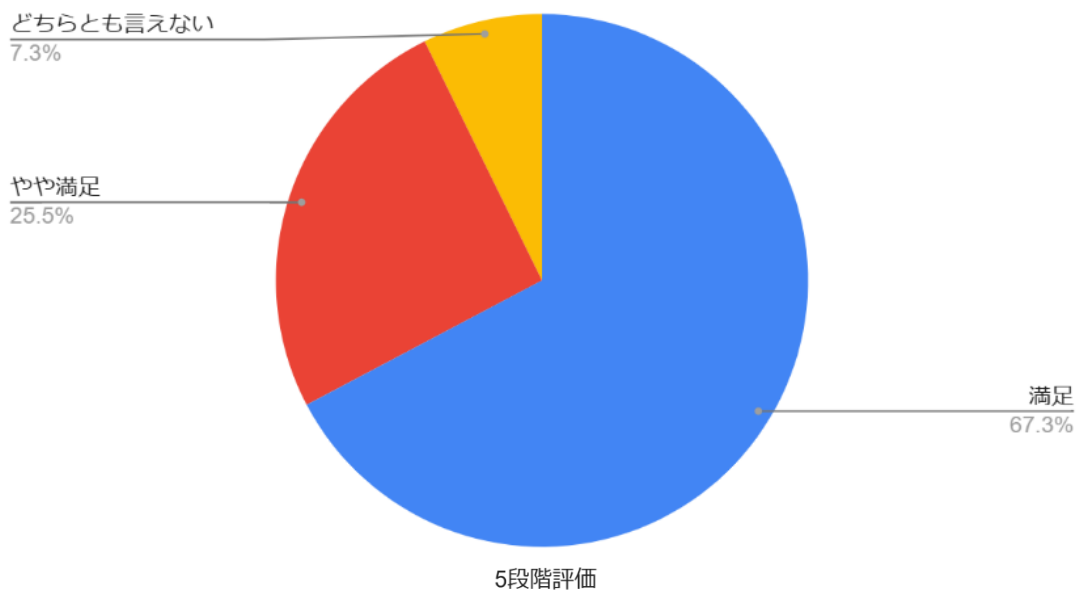
【来場者アンケート：集計結果 2ページ目/ 9ページ】

●回答数 : 55件

職業・所属

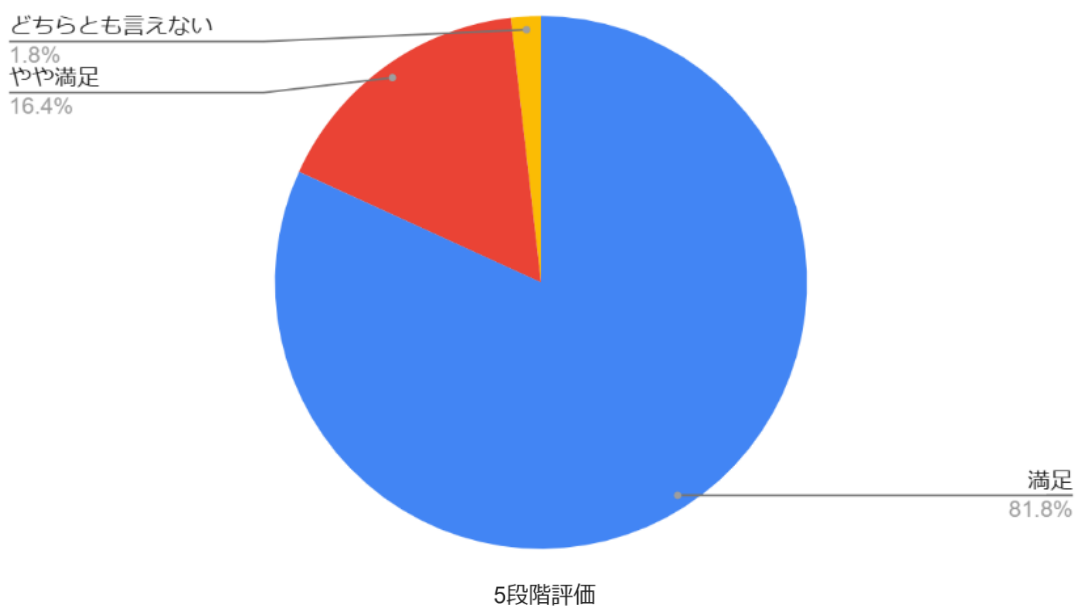


特別講演「長野県の水害と伝承」について

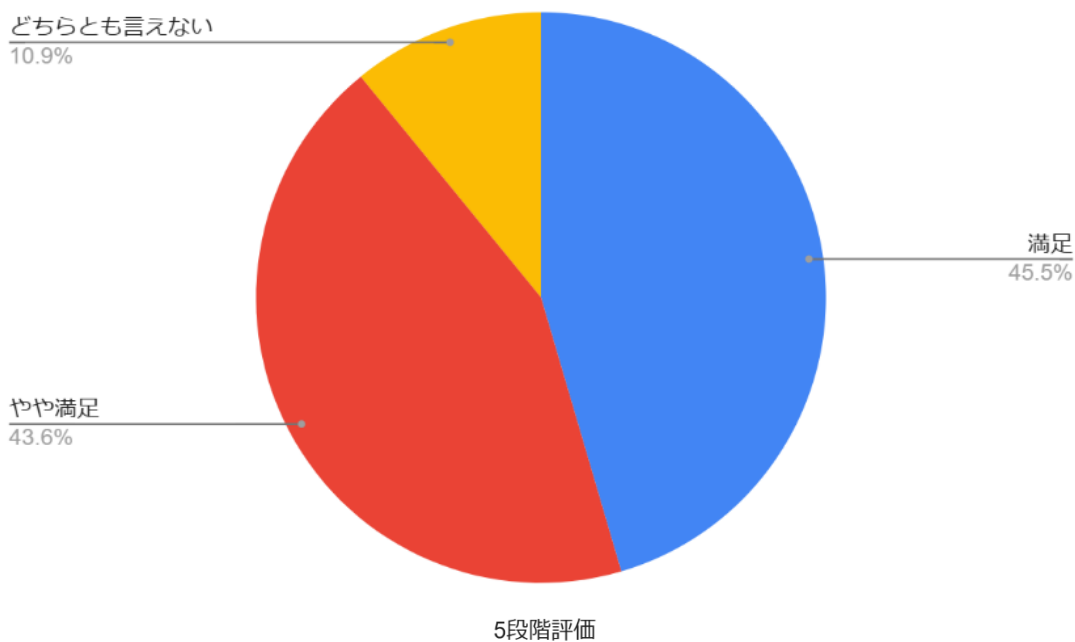


【来場者アンケート：集計結果 3ページ目/ 9ページ】

基調講演「コミュニティ防災の支援ツールとしてのタイムライン」について

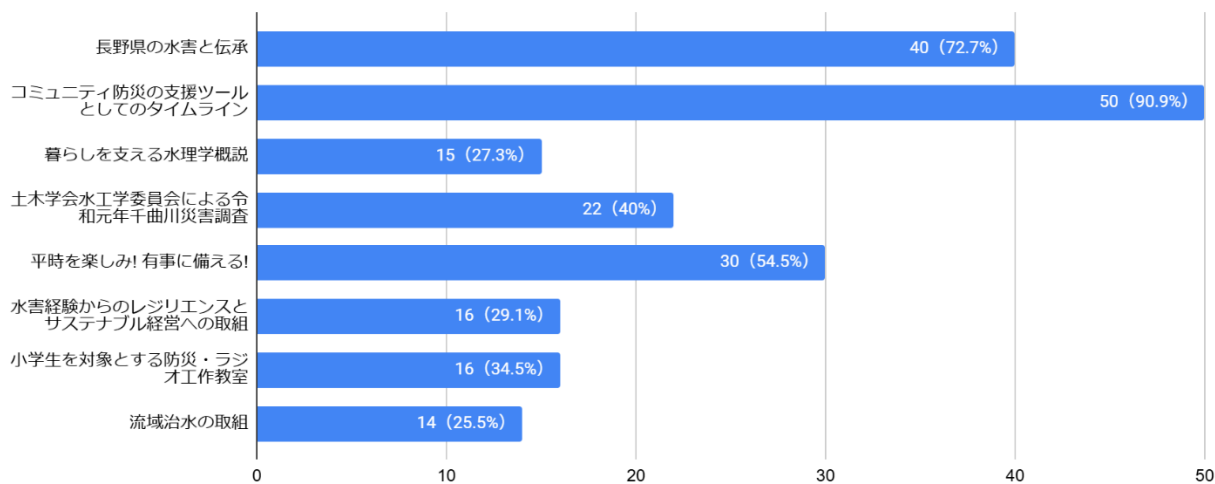


各講演について

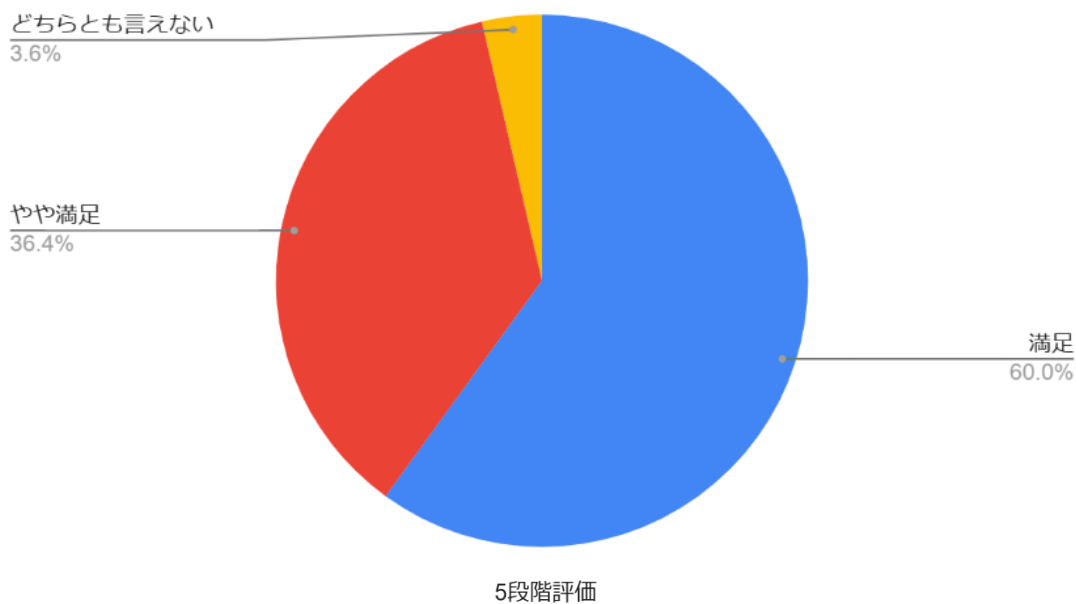


【来場者アンケート：集計結果 4ページ目/ 9ページ】

興味深かった講演名をお答えください。（いくつでも）

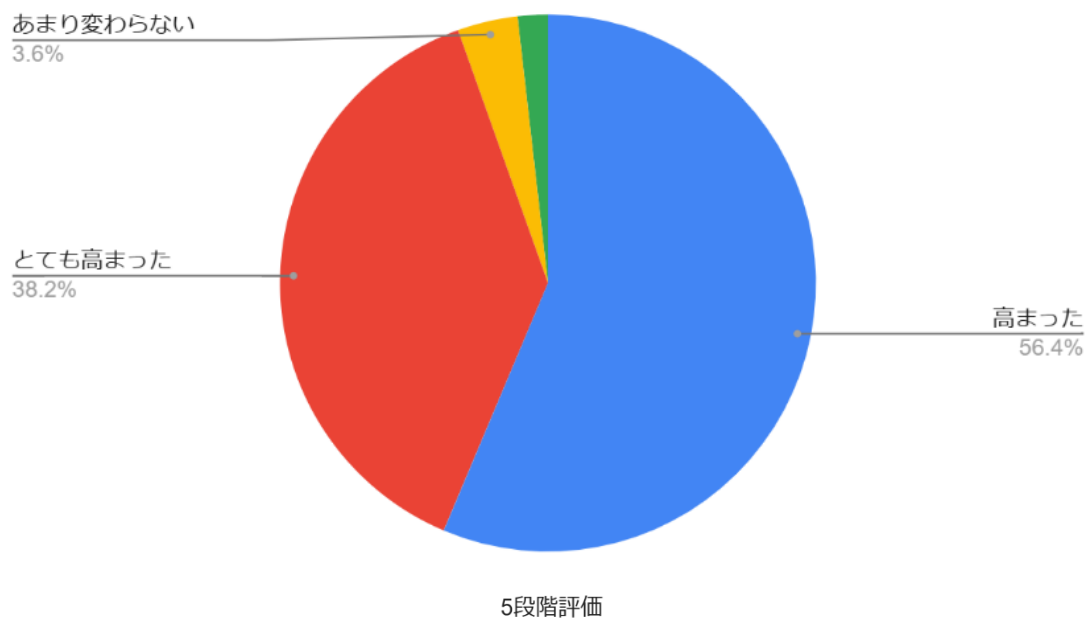


シンポジウムに対する満足度は？

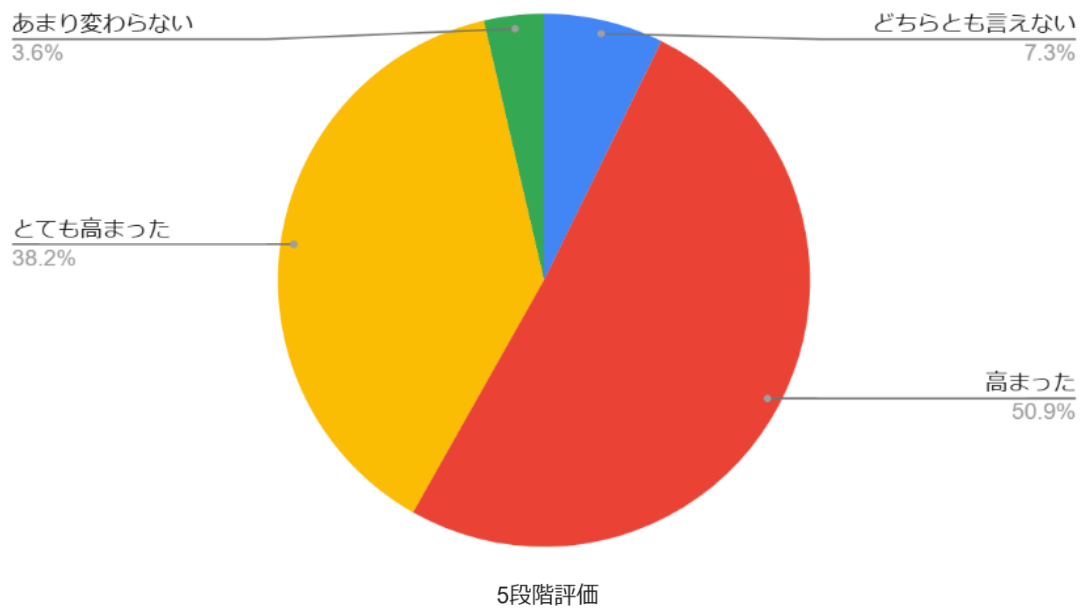


【来場者アンケート：集計結果 5ページ目/ 9ページ】

シンポジウムに参加されて、災害について知り、防災意識は高められましたか？

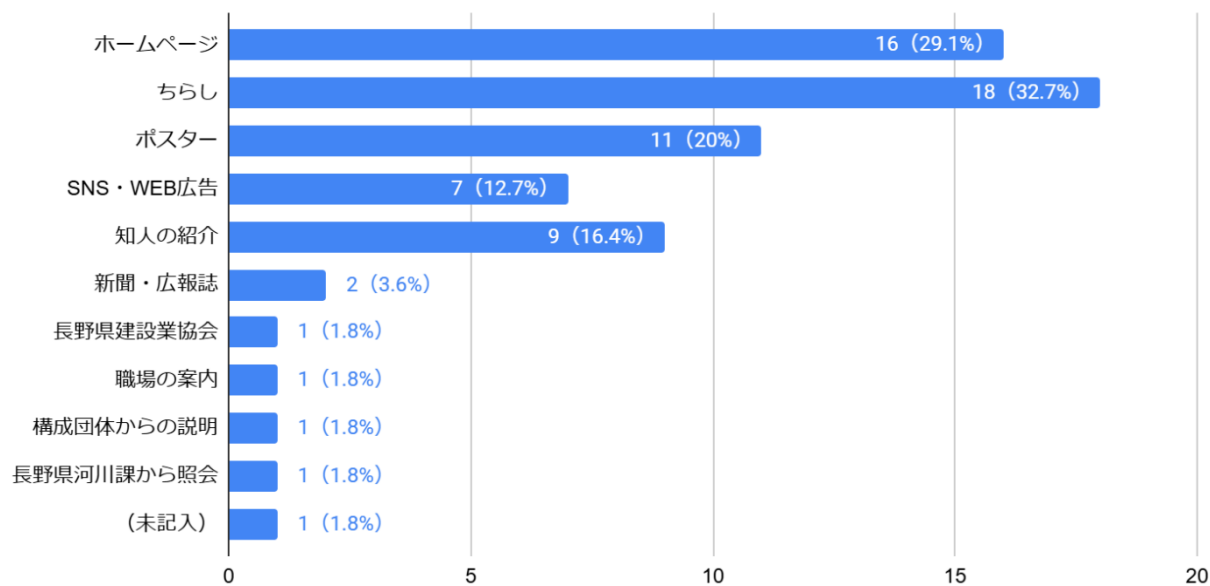


流域に住む全員で取り組む流域治水について関心は高まりましたか？

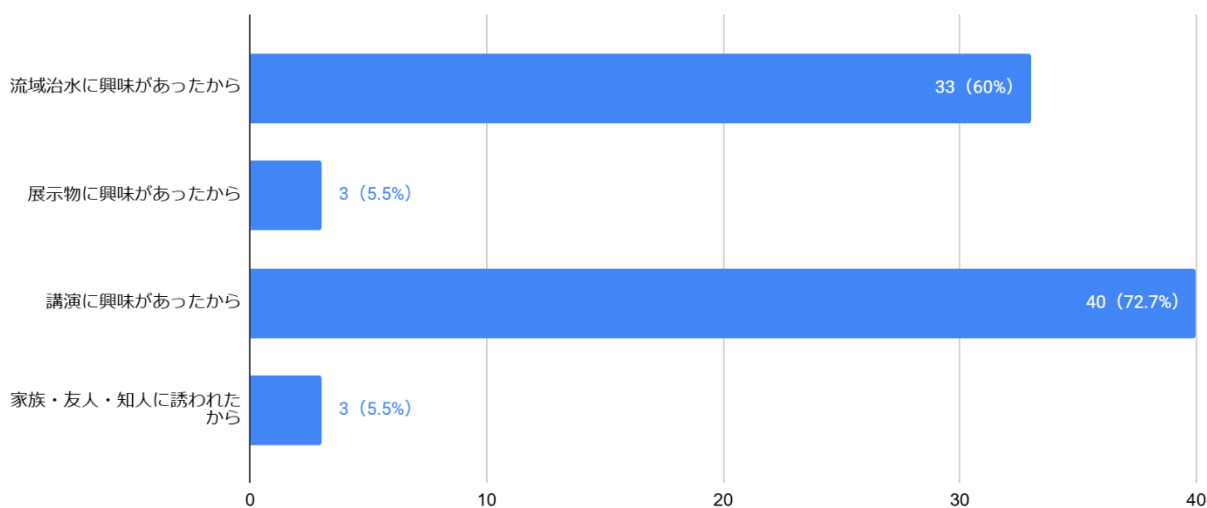


【来場者アンケート：集計結果 6ページ目/ 9ページ】

このシンポジウムをどこで知りましたか？（いくつでも）

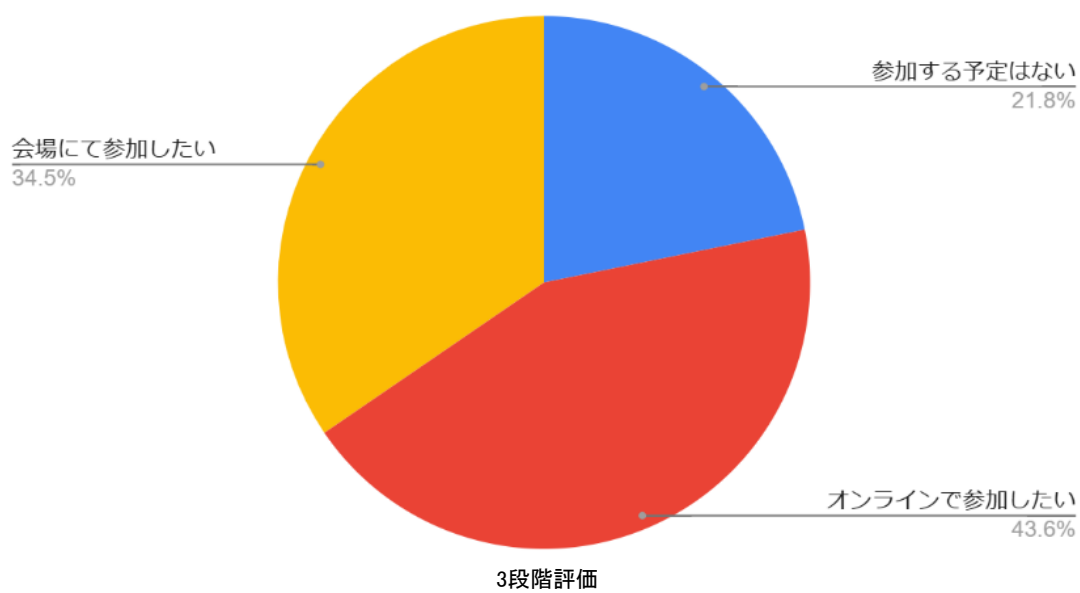


来場した目的はなんですか？（いくつでも）



【来場者アンケート：集計結果 7ページ目/ 9ページ】

来年も「水シンポジウム」に参加したいですか？



【来場者アンケート：集計結果 8ページ目/ 9ページ】

今回のシンポジウムについてご意見・ご感想をお聞かせください。

- ・展示ブースの充実
- ・災害から5年様々な取り組みが知ることが出来、大変参考になりました。
- ・流域治水についてたくさん事例を伺い大変勉強になりました。子供を主体とした活動によって大人も巻き込みながらというのが良いのかなと思いました
- ・今回のシンポジウムの主題である県の説明は最初にやるべき。講演の数を減らし全体の時間も短く。関係者では盛り上がったかもしれないが、一般市民にどう啓発していくか。
- ・タイムラインの講演と、平時を楽しみ有事に備えるの2講演が、素晴らしかったです。
- ・1つの講演時間をもう少し長く取られればよかった
- ・集中を切らさずに聞ける講演の長さで良かった。展示の内容も体裁も見易くて良かった。
- ・講演の時間をしっかりとってもらいたい。講演内容の配布資料を用意してもらいたい。
- ・千曲市在住ですが、新しい市の庁舎の周辺も被害に遭いました。そのことを教訓に、地区によっては常会ごとにどこかの家にどんな人が住んでいるというリストを作成したものを集めて、災害が起きた時の救助のきっかけにしようということを進めています。
- ・素晴らしい活動です。未長い活動を期待します。
- ・防災に関するいろんな視点からの情報があって良かった
- ・見識を広げることが出来たため、非常に良い機会だった。
- ・豊野で災害ボランティアセンターのサテライトでお手伝いしました。シンポジウムの講演や報告で復旧復興され、さらに前に進んでいることが拝見でき、嬉しい限りです。先生方の説明資料が、シンポジウム後にPDFなどで拝見できるとありがたいです。
- ・タイムラインの多様性、継続の必要、重要性を認識でき、業務に活かしたい。
- ・資料について、電子データでも良いので頂きたかったです。
- ・駐車場の案内が事前に欲しかった
- ・行政以外から流域治水に関する取組事例が聞けて参考になった。
- ・ナマの情報が役立った。
- ・目からウロコのお話も多く、大変参考になりました。山梨も楽しみにしています。
- ・被災地区の住民として改めて感じるものがありました。ありがとうございました。
- ・コミュニティ防災におけるタイムラインなど、事前の地域における学習の大切さを感じた。

【来場者アンケート：集計結果 9ページ目/ 9ページ】

今後のシンポジウムで取り上げて欲しいテーマ、講師等、ご希望がありましたら教えてください。

- ・流域総合水管理について
- ・マイタイムライン作成の具体例とその運用について
- ・能登半島地震及び豪雨災害の被災、復旧状況
- ・利活用のテーマを少し追加していただけると、更なる興味が湧くと思います。
- ・タイムラインの作成方法について
- ・治水事業の方法（施策）には様々な考え方があり、来場者のすべてが賛意をしめすとは限らない場合もあります。講師に対して、極端な意見を持った、いわゆる反対派が質問に現れた想定も視野に入れた対応を望みます。
- ・実践的な取り組みを多くご紹介いただきたい。
- ・タイムラインの作り方
- ・官民学に福祉、報道や金融など含めたパネル方式も有効と思います。
- ・防災教育の紹介

●信濃毎日新聞

2024年10月9日（水）

2024年10月30日（水）

治水や利水から防災考えよう

長野で31日に「水シンポジウム」
長野市若里市民文化ホールとしてのタイムライン」を手
で31日、「水シンポジウム2
024 inながの」が開かれ
る。2019年10月の台風19
号災害から5年となるのを機
に、防災や減災について考え
ようと、信州大工学部（長野
市）の流域治水研究センタ
「L」や国土交通省北陸地方整
備局、県、長野市などをつな
ぐ実行委員会が企画した。
県立歴史館（千曲市）の笹
本正治特別館長が「長野県の
本書と伝承」と題して特別講
演。東京大大学院情報学連の
総合防災情報研究センター客
員教授の松尾一郎さんがコ
ミュニティ防災の支援ツール

古い絵地図×衛星写真=未来への教訓



江戸時代の絵地図に描かれている千曲川について説明する山浦さん(中央)

県内の歴史研究者らによる「歴史的水害
史料活用研究会」は、千曲川流域の水害の歴
史を伝える展示会を長野市津野の妙笑寺で
開いている。市内で31日に開く「水シンポ
ジウム」(実行委員会主催)に合わせて企画
明治時代の絵地図と衛星写真を組み合わせた
資料などを並べており、研究会は「過去の史
料はこれからの地域防災につながる」と来場
者を呼びかけている。

見て学ぶ千曲川の水害



古い時代の絵地図には、千曲
川や流域の農地の様子に加え、
耕作に備わる構造物が詳細
に記されている。津野を含む長
沼地区周辺では、江戸中後期に
かけ川筋が洪水のたびに変化
し、耕作地や村の境を記録す
る必要があったとみられる。

2024年11月1日（金）

長野・津野で研究者ら展示会

明治時代の絵地図と、米ケー
ブルの衛星写真を利用したサ
ービス「グーグルアース」を重
ね合わせた動画も展示。佐久市か
ら中野市までの川筋の変化や、
流域に宅地が造成されていた
ことが分かる。
研究会事務局の山浦誠人さん
(73)は「住民たちが本書から財
産を守るために工夫しつつ、地
域を形作ってきたことが分か
る」と語る。
11月10日までの午前10時半～
午後4時半、3、4、10日(各
日午前11時から午後2時か
ら)は研究会メンバーが展示内
容を説明。3日午後1時半から
は「江戸時代の千曲川沿いの新
田開発と本書」と題した講演会
を予定する。いずれも無料。

避難の「タイムライン」解説

長野で防災専門家やボランティア講演



防災・減災や治水について
考える「水シンポジウム」が
31日、長野市で開かれた。2
019年10月の台風19号災害
から5年を迎えたのに合わせ
て、土木学会水工学委員会や
信州大工学部の流域治水研究
センターなどの実行委員会が
企画。防災の専門家や災害ボ
ランティア団体関係者が講
演し、約320人が聞いた。



水シンポジウムで講演する松尾官員教授

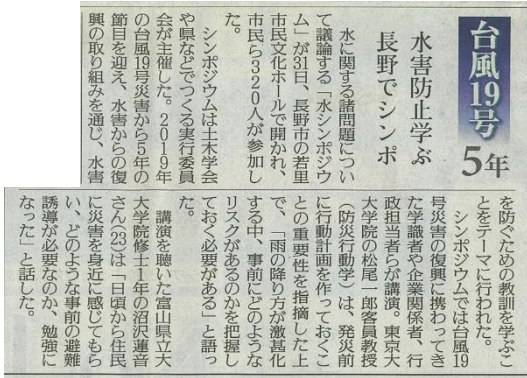
東京大大学院の松尾一郎客
員教授(防災行動学)は、災
害時に取るべき行動を時系列
で定めておく「タイムライン」
について解説。20年7月の豪

雨で被災した熊本県球磨村で
は、タイムラインに基づき早
めの避難誘導がなされた一方
で犠牲者も出たとし、「日ご
ろからタイムラインを使い、
見直し続けることが重要。研
究者や住民、自治体が共に取
り組む仕組みを広めないとい
けない」と強調した。
台風19号災害の被災地を支
援した一般社団法人「日本笑
顔プロジェクト」(小布施町)
の林映寿代表理事は、9月の
豪雨の後にも能登半島地震被災
地で重機を使った土砂撤去な
どに取り組んでいると説明。
小中高生向けの防災教育にも
力を入れるとし、「若い世代の
ボランティアを育成していき
たい」と力を込めた。

【報道実績 2ページ目/ 2ページ】

●読売新聞（長野県版）

2024年11月1日（金）



2024年11月2日（土）



●NHK長野放送局

2024年10月31日（木）放送

「NHKイブニング信州」（治水の重要性について考える「水シンポジウム」長野市で開催）

・2024年10月31日（木）掲載
ホームページ「信州NEWS WEB」



【当日配布物 及び 設置看板等】

● 水シンポジウム2024inながの 配布物

(バッグに内包)

- ・「水シンポジウム2024inながの」当日配布パンフレット
- ・土木学会水工学委員会「令和元年台風19号号災害調査団 中部・北陸地区報告書」掲載URLへの誘導チラシ
- ・グリーン社会協創機構パンフレット
- ・(一財)日本笑顔プロジェクト「笑顔NEWS」パンフレット
- ・長野県「みんなで学ぼう！私たちの流域治水」パンフレット
- ・長野SDGs地域防災プロジェクト「防災・ラジオ工作教室」チラシ
- ・国土交通省甲府河川国道事務所「富士川の治水を見る」パンフレット
- ・山梨県「山梨県流域治水の取り組み」動画URLへの誘導チラシ
- ・城東リプロン(株)「流域治水事業におけるNETIS登録製品の用途例」チラシ
- ・歴史的水害史料活用研究会「洪水痕跡を伝える妙笑寺と千曲川」事業告知チラシ
- ・長野県「豪雨・台風への備えチェックリスト/マイタイムライン作成啓発」チラシ



(単独配布)

- ・アンケートご協力をお願いチラシ

● ながの観光コンベンションビューロ 配布物

(バッグに内包)

- ・コンベンション参加者アンケートのお願いチラシ
- ・「ようこそながのMAP」
- ・「NAGANOグルメガイド」パンフレット
- ・「信州・長野市ガイドブック」パンフレット



【当日配布物 及び 設置看板等】

- ステージ上 吊り看板 (W7,272mm×H800mm)



- 垂れ幕 (W800mm×H4,000mm)

- 立て看板 (共立プランニング製作) (W900mm×H1,800mm)

- 立て看板 (ながの観光コンベンションビューロ製作)

基調講演

「コミュニティ防災の支援ツールとしてのタイムライン」

～タイムライン導入10年、命を守った事例とこれから～

東京大学大学院情報学環
総合防災情報研究センター 客員教授
松尾 一郎 氏

特別講演

「長野県の水害と伝承」

長野県立歴史館 特別館長
笹本 正治 氏

第28回

水シンポジウム2024 in ながの

会期／令和6年10月31日(木)13時～17時30分

会場／長野市若里市民文化ホール

ようこそ！長野市へ

WELCOME

(公期)ながの観光コンベンションビューロー

【広報宣伝】

●ホームページ（1 / 4）



「流域治水」という言葉をご存知でしょうか？

行政だけでなく、川とともに暮らす地域住民や企業、関係者と協力し、流域全体で「水害に強い地域づくり」に取り組むという考え方です。令和6年は、令和元年東日本台風から5年の節目。本シンポジウムでは、令和元年東日本台風からの復旧・復興、長野県の取組などを全国に発信します。災害を減らすために普段から何ができるのか。今後の防災・減災について考えてみませんか。

シンポジウム

入場無料

令和6年 **10/31** 木

できるだけ事前にお申し込みをお願いします
※当日参加可能
お申し込み締切/10月18日（金）

時間/13:00～17:30（開場11:30）
会場/長野市若里市民文化ホール [\(地図はこちら\)](#)
[詳しくはこちら](#)

懇親会

要申し込み
お申し込み締切/9月27日（金）

時間/18:30～
会場/ホテルメトロポリタン長野 [\(地図はこちら\)](#)
参加費/7,000円（税込）

現地見学会

定員/40名

令和6年 **11/1** 金

要申し込み
お申し込み締切/9月27日（金）

時間/9:00出発～17:10解散（予定）
見学先/千曲川大洪水水位標（妙笑寺）、千曲川決壊現場（長野市穂保）など
発着場所/長野駅東口
参加費/高校生以上2,000円、小中学生1,800円
※昼食代・保険代等込み ※小中学生は保護者同伴
※参加費は当日現金で徴収
[詳しくはこちら](#)



このシンポジウムは、土木学会継続教育（CPD）プログラムの認定を受けています。
10月31日3.5単位、11月1日5.0単位

[チラシPDFダウンロード](#)
[ポスターPDFダウンロード](#)

[お申し込みはこちら](#)

【広報宣伝】

●ホームページ（2 / 4）

シンポジウム

■開催概要

開催日／令和6年10月31日（木）
時間／13:00～17:30（開場11:30）
会場／長野市若里市民文化ホール
住所／長野県長野市若里3丁目22-2
JR長野駅東口より徒歩約25分、タクシー約10分、長電バス・アルピコバス「ビッグハット前」下車徒歩1分
※公共交通機関でご来場ください。

直通バス

- 長野駅東口ユメリアバスパーク→若里市民文化ホール
1便：11:30発、2便：12:00発、3便：12:15発、4便：12:30発
 - 若里市民文化ホール→長野駅東口ユメリアバスパーク
1便：17:45発、2便：18:15発
 - 若里市民文化ホール→ホテルメトロポリタン長野
1便：18:00発（懇親会出席者用）
- ※直通バスの乗車は無料です。
※予約・事前申し込みは不要です。
※当日は先着順で乗車頂き、定員（約50人）または定刻になりましたら出発いたします。
※「行き」はJR長野駅東口ユメリアバスパークにご集合ください。
※「帰り」はシンポジウム会場にてご案内いたします。

CPD／3.5単位



特別講演

「長野県の水害と伝承」
長野県立歴史館 特別館長
榎本 正治 氏



基調講演

「コミュニティ防災の支援ツールとしてのタイムライン」～タイムライン導入10年、命を守った事例とこれから～
東京大学大学院情報学環
総合防災情報研究センター 客員教授
松尾 一郎 氏



■タイムテーブル（時間は前後する可能性があります）

- 11:30 開場（展示見学していただけます）
- 13:00 開会
- 13:30 特別講演
- 14:00 基調講演
- 14:55 休憩（展示見学していただけます）
- 15:25 「暮らしを変える水理学概説」日本大学理工学部教授 高橋 正行
- 15:40 「土木学会水工学委員会による令和元年千曲川災害調査」信州大学工学部教授 吉谷 純一
- 15:55 「平時を楽しみ!有事に備える!」一般財団法人日本英顔プロジェクト代表理事 林 映寿
- 16:15 「水害経験からのレジリエンスとサステナブル経営への取組」NIKKI Fron 株式会社代表取締役社長 春日 孝之
- 16:35 「小学生を対象とする防災・ラジオ工作教室」長野SDGs地域防災プロジェクト 一杉 竜哉
- 16:55 「流域治水の取組」長野県建設部河川課長 江守 護
- 17:10 総括
- 17:20 次回開催挨拶【山梨県】
- 17:30 閉会（18:00まで展示見学していただけます）
- 18:30～ 懇親会（ホテルメトロポリタン長野）



千曲川 長野市穂保



千曲川 上田市黒島形



千曲川 東部市本海野

お申し込みはこちら

【広報宣伝】

●ホームページ（3 / 4）

現地見学会

長野県における災害の歴史を学び、令和元年東日本台風を受け実施している治水対策や企業の取組を通じて、これからの防災・減災について考えます。

■開催概要

時間 / 9:00出発～17:10解散（予定）
見学先 / 千曲川大洪水水位標（妙笑寺）、千曲川決壊現場（長野市穂保）など
発着場所 / 長野駅東口
参加費 / 高校生以上 2,000円、小中学生 1,800円
※昼食代・保険代等込み ※小中学生は保護者同伴
※参加費は当日現金で徴収

CPD / 5.0単位



■スケジュール

9:00 長野駅東口出発（8:50集合）
①日本無線（株）【防災機器に要求される性能を学ぶ】
昼食
②浅川排水機場【排水機場が果たす治水上の役割を学ぶ】
③NIKKI Fron（株）【製造業における水害への備えや対応を学ぶ】
④千曲川大洪水水位標（妙笑寺）【水害史や令和元年災害状況を学ぶ】
17:10 長野駅東口発着・解散



妙笑寺 千曲川大洪水水位標

お申し込みはこちら

出展者募集

水シンポジウム2024 in ながでは、水に関わる取組（治水、利水、環境など）を進めている団体や企業を募集します。パネルやブース出展で、みなさんの活動を発信しませんか。

■ブース展示

標準設備

- 背曲パーティション（高さ1.8m）
- 左右2.7m×奥行2.0m
- 長机1台・椅子2脚

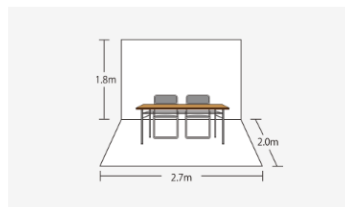
ブース出展料

- 1団体 30,000円

お申し込み締切

- 9月6日（金）

※限定9ブース。申し込み多数の場合は抽選となります（事務局一任）。



■パネル展示

掲出料

- 無料

お申し込み締切

- 9月6日（金）

※1団体2～3枚程度

※限定38枚。申し込み多数の場合は抽選となります（事務局一任）。



【広報宣伝】

●ホームページ（4 / 4）

出展者お申し込み

第27回水シンポジウム2023 in さが 実施状況



講演会



講演会



現地見学会 さが水ものがたり館



現地見学会 霧瀨川ダム堤内見学

お問い合わせ

第28回水シンポジウム2024 in ながの 実行委員会事務局
長野県建設部河川課 〒380-8570 長野県長野市南長野幅下692-2 TEL.026-235-7310

【主催】「第28回水シンポジウム2024 in ながの」実行委員会

構成団体：公益社団法人土木学会水工学委員会、信州大学工学部流域治水研究センター、国土交通省北陸地方整備局、長野県、長野市、長野SDGs地域防災プロジェクト

このシンポジウムは（公財）河川財団による河川基金、（一財）防災研究協会、（一社）北陸地域づくり協会の助成、信州大学グリーン社会協創機構地域防災減災センター、長野県河川協会の支援を受けています。

【後援】（一社）長野県建設業協会、（一社）長野県測量設計業協会、（一社）建設コンサルタツ協会関東支部長野地域委員会、歴史的水害史料活用研究会



【関係機関・企業】

土木学会水工学委員会 北陸地方整備局 千曲川河川事務所 長野県河川課 長野市河川課 長野市河川課（雨水流出対策）
長野市（令和元年東日本台風（台風第19号）災害関連情報） 日本芙蓉プロジェクト NIKKI Fron（株） 日本無線（株）
長野SDGs地域防災プロジェクト 信州大学工学部流域治水研究センター

【広報宣伝】

●チラシ (A4) (15,000部)

表面

善光寺平を流れる千曲川

水 シンポジウム 2024 in ながの

治水 ONE NAGANO
～令和元年東日本台風から5年 未来に向け私たちが学んだこと～

「流域治水」という言葉をご存知でしょうか？
行政だけでなく、川とともに暮らす地域住民や企業、関係者と協力し、流域全体で「水害に強い地域づくり」に取り組むという考え方です。
令和6年は、令和元年東日本台風から5年の節目。本シンポジウムでは、令和元年東日本台風からの復興・復興、長野県の取組などを全国に発信します。災害を減らすために普段から何ができるのか。今後の防災・減災について考えてみませんか。

<p>シンポジウム 入場無料 <small>できるだけ事前にお申し込みをお願いします(当日参加可能)</small></p> <p>令和6年 10/31 木 <small>時間/13:00～17:30 (開場 11:30)</small></p> <p>長野市若里市民文化ホール 長野県長野市若里3丁目22-2 <small>JR長野駅東口より徒歩約25分、タクシー約10分、長電バス・アルピコバス「ビッグハット前」下車徒歩1分</small></p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%; border: 1px solid black; padding: 2px;"> <p>特別講演 長野県立歴史館 特別館長 笹本 正治 氏</p> </td> <td style="width: 50%; border: 1px solid black; padding: 2px;"> <p>基調講演 東京大学大学院 客員教授 松尾 一郎 氏</p> </td> </tr> </table> <p>■懇親会(要お申し込み) <small>時間/18:30～ 参加費/7,000円(税込)</small> 会場/ホテルメトロポリタン長野</p>	<p>特別講演 長野県立歴史館 特別館長 笹本 正治 氏</p>	<p>基調講演 東京大学大学院 客員教授 松尾 一郎 氏</p>	<p>現地見学会 定員/40名 要お申し込み</p> <p>令和6年 11/1 金 <small>時間/9:00出発～17:10解散(予定)</small></p> <p>発着場所/長野駅東口</p> <p>見学先 千曲川大洪水水位標(妙笑寺) 千曲川決壊現場(長野市穂保) など</p> <p>参加費/高校生以上 2,000円 小中学生 1,800円</p> <p><small>※昼食代・保険代等込み ※小中学生は保護者同伴 ※参加費は当日現金で徴収</small></p>
<p>特別講演 長野県立歴史館 特別館長 笹本 正治 氏</p>	<p>基調講演 東京大学大学院 客員教授 松尾 一郎 氏</p>		

参加お申し込み

お申し込み締切 シンポジウム 10月18日(金) ホームページのお申込みフォーム
現地見学会、懇親会 9月27日(金) またはお電話でお申し込みください。

※受付は先着順となります。定員に達し次第、締めていただきます。

☎ 026-235-7310

【主催】「第28回水シンポジウム2024 in ながの」実行委員会
構成団体:公益社団法人土木学会水工学委員会、信州大学工学部流域治水研究センター、国土交通省北陸地方整備局、長野県、長野市、長野SDGs地域防災プロジェクト

このシンポジウムは(公財)河川財団による河川基金、(一財)防災研究協会、(一社)北陸地域づくり協会の助成、信州大学グリーン社会協創機構地域防災センター、長野県河川協会の支援を受けています。

【後援】(一社)長野県建設業協会、(一社)長野県測量設計業協会、(一社)建設コンサルタンツ協会関東支部長野地域委員会、歴史的水害史料活用研究会

河川基金
流域治水

このシンポジウムは、土木学会継続教育(CPD)プログラムの認定を受けています。
10/31 講演会～3.5単位
11/1 現地見学会～5.0単位

【広報宣伝】

●チラシ（A4）（15,000部）

裏面



シンポジウム

令和6年 **10/31** 木
長野市若里市民文化ホール

特別講演

「長野県の水害と伝承」

長野県立歴史館 特別館長
笹本 正治 氏



基調講演

「コミュニティ防災の 支援ツールとしてのタイムライン」

～タイムライン導入10年、命を守った事例とこれから～
東京大学大学院情報学環
総合防災情報研究センター 客員教授
松尾 一郎 氏



- 11:30 開場（展示見学していただけます）
- 13:00 開会
- 13:30 特別講演
- 14:00 基調講演
- 14:55 休憩（展示見学していただけます）
- 15:25 「暮らしを支える水理学概説」
日本大学理工学部教授 高橋 正行
- 15:40 「土木学会水工学委員会による令和元年千曲川災害調査」
信州大学工学部教授 吉谷 純一
- 15:55 「平時を楽しみ！有事に備える！」
一般財団法人日本笑顔プロジェクト代表理事 林 映寿
- 16:15 「水害経験からのレジリエンスとサステナブル経営への取組」
NIKKI Fron 株式会社代表取締役社長 春日 孝之
- 16:35 「小学生を対象とする防災・ラジオ工作教室」
長野SDGs地域防災プロジェクト 一杉 竜哉
- 16:55 「流域治水の取組」
長野県建設部河川課長 江守 護
- 17:10 総括
- 17:20 次回開催挨拶【山梨県】
- 17:30 閉会（18:00まで展示見学していただけます）

18:30～懇親会（ホテルメトロポリタン長野） **要お申し込み**

現地見学会

令和6年 **11/1** 金

長野県における災害の歴史を学び、令和元年東日本台風を受け実施している治水対策や企業の取組を通じて、これからの防災・減災について考えます。



紗笑寺 千曲川大洪水水位標

- 9:00 長野駅東口出発（8:50集合）
- ①日本無線(株) 【防災機器に要求される性能を学ぶ】
昼食
- ②浅川排水機場 【排水機場が果たす治水上の役割を学ぶ】
- ③NIKKI Fron(株) 【製造業における水害への備えや対応を学ぶ】
- ④千曲川大洪水水位標(紗笑寺) 【水害史や令和元年災害状況を学ぶ】
- ⑤千曲川決壊現場(長野市穂保) 【堤防決壊箇所の復旧状況や治水対策を学ぶ】
- 17:10 長野駅東口帰着・解散

出展者募集

水シンポジウム2024 in ながの では、水に関わる取組（治水、利水、環境など）を進めている団体や企業を募集します。パネルやブース出展で、みなさんの活動を発信しませんか。詳細は事務局までお問い合わせください。
■お申し込み方法／ホームページの申し込みフォームより ■締切／9月6日（金）

お問い合わせ

第28回 水シンポジウム 2024 in ながの 実行委員会事務局
長野県建設部河川課 〒380-8570 長野県長野市南長野幅下692-2 TEL.026-235-7310
<https://mizusyempo2024.sakura.ne.jp/>

ホームページは
こちらから



【広報宣伝】

●ポスター（B2）（650部）

清光寺平を流れる千曲川

水

第28回

シンポジウム

2024 in ながの

治水 ONE NAGANO

～令和元年東日本台風から5年 未来に向け私たちが学んだこと～

「流域治水」という言葉をご存知でしょうか？
行政だけでなく、川とともに暮らす地域住民や企業、関係者と協力し、流域全体で「水害に強い地域づくり」に取り組むという考え方です。
令和6年は、令和元年東日本台風から5年の節目。本シンポジウムでは、令和元年東日本台風からの復旧・復興、長野県の取組などを全国に発信します。災害を減らすために普段から何ができるのか。今後の防災・減災について考えてみませんか。

シンポジウム **入場無料**

できるだけ事前に
お申し込みをお願いします
(700部限定)

現地見学会 定員/40名
要お申し込み

令和6年 **10/31** 木

時間/13:00～17:30
(開場 11:30)

長野市若里市民文化ホール
長野県長野市若里3丁目22-2

川長野駅東口より徒歩約25分、タクシー約10分、長野バス・アズビエバス「リッジハット橋」下車徒歩1分

特別講演 長野県立歴史館 特別館長
笹本 正治 氏

基調講演 東京大学大学院 客員教授
松尾 一郎 氏

■懇親会(要お申し込み) 時間/18:30～ 参加費/7,000円(税込)
会場/ホテルメトロポリタン長野

令和6年 **11/1** 金

時間/9:00出発～17:10解散(予定)
発着場所/長野駅東口

見学先 千曲川大洪水水位標(妙笑寺)
千曲川決壊現場(長野市穂保)など

参加費/高校生以上 2,000円
小学生 1,800円

車賃代・保険代等込み ※小中学生は保護者同伴
※参加費は当日現金で徴収

参加お申し込み お申し込み締め

シンポジウム 10月18日(金)
現地見学会、懇親会 9月27日(金)

お申し込みは先着順となります。定員に達し次第、締め切らせていただきます。

ホームページのお申し込みフォームまたはお電話でお申し込みください。 ☎ 026-235-7310

お申し込みフォームはこちら

出展者募集

本シンポジウム2024 in ながのでは、水に関わる組織(治水、治水、環境など)を基軸として団体や企業を募集します。パネルセッション開催で、みなさんの活動を発信しませんか。詳細は事務局までお問い合わせください。 ■お申し込みはホームページのお申し込みフォームより ■締切:9月18日

【主催】第28回水シンポジウム2024 in ながの実行委員会

構成団体:公益社団法人土木学会水工学委員会、徳州大学工学部流域治水研究センター、国土交通省北陸地方整備局、長野県、長野市、長野SDG4地域防出プロジェクト

このシンポジウムは(公財)河川財団による河川調査、(一社)防災研究協会、(一社)北陸地域づくり協会の協賛、徳州大学グリーン社会協創連携地域防災センター、長野県河川協会の協力を得ています。

【後援】(一社)長野県建設業協会、(一社)長野県測量設計業協会、(一社)建設コンサルタント協会関東支部長野地域委員会、歴史治水資料活用研究会

河川基金

流域治水

このシンポジウムは、土木学会継続教育(CPE)プログラムの認定を受けています。
10/31 講義時-3.5単位
11/1 現地見学会-5.0単位

【広報宣伝】



●チラシ・ポスター 配布先

機関	
長野県庁関係部署	
長野県現地機関	建設事務所 砂防事務所
県内市町村	
他都道府県	
長野県商工会議所	
県河川課各種イベント、会議	
国土交通省本省	水管理・国土保全局
国土交通省各地方整備局	現地機関含む
長野市本庁	
長野市各支所	
長野市被災地区回覧	長沼、豊野、松代、 若穂、篠ノ井
土木学会	
信州大学工学部	
信州大学地域防災センター	
水害サミット参加自治体 (R3～R6)	
シンポジウム講演者	
シンポジウム後援団体	長野県建設業協会、長野県測量設計業協会、 建設コンサルタンツ協会関東支部長野地域委員会、 長野県河川協会 など
県河川課各種イベント、会議	

【広報宣伝】



●Facebook・Instagram広告 概要

明確なターゲット設定 ……エリア・年齢・興味関心など、配信設定が可能。
 幅広い年齢層に届く ……年齢・性別を問わず、接触率の高いメディア。
 細かい設定が可能 ……期間・ご予算に合わせて配信が可能。

	ユーザー層・特徴
 Facebook	<ul style="list-style-type: none"> ・30代以降、社会人。年齢層は高め。 ・実名登録であるため、正確なプロフィール情報に基づいたターゲティングがしやすい。
 Instagram	<ul style="list-style-type: none"> ・10代～30代が主だが、40代以降にも拡大中。 ・イラストや写真などで視認性が高い。 ・ユーザーの趣味や関心に合わせたターゲティングが可能。

●Google・Yahoo!ディスプレイ広告 概要

明確なターゲット設定 ……エリア・年齢・興味関心など、配信設定が可能。
 幅広い年齢層に届く ……年齢・性別を問わず、接触率の高いメディア。
 細かい設定が可能 ……期間・ご予算に合わせて配信が可能。

	ユーザー層・特徴
	<ul style="list-style-type: none"> ・幅広い年齢層が利用。 ・閲覧デバイスは、モバイル（スマホ）が多い ・配信先：Google、Youtube、Google提携サイト
	<ul style="list-style-type: none"> ・30代～が主流 ・閲覧デバイスは、パソコンが多い ・配信先：Yahoo!、Yahoo! 提携サイト

【広報宣伝】

●Facebook・Instagram広告

・配信エリア：全国、年齢：20歳～、性別：すべて、目的：WEBサイトへの誘導

広告開始	広告終了	表示数	クリック数	クリック率
2024.8/9	2024.10/18	160,910	1,759	1.09%

Facebook広告配信画面



Instagram広告配信画面



【広報宣伝】

●Googleディスプレイ広告

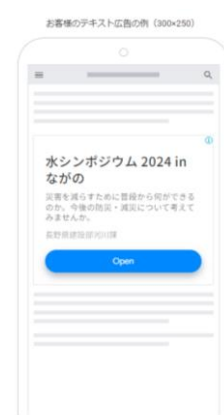
・配信エリア：全国、年齢：18歳～、性別：すべて、目的：WEBサイトへの誘導

広告開始	広告終了	表示数	クリック数	クリック率
2024.8/9	2024.10/18	606,354	5,225	0.86%

バナー広告



レスポンシブル広告



【広報宣伝】

●Yahoo！ディスプレイ広告 ※9/28から、配信エリア変更・追加予算投入して実施。

・配信エリア：全国、年齢：20歳～、性別：すべて、目的：WEBサイトへの誘導

広告開始	広告終了	表示数	クリック数	クリック率
2024.8/9	2024.9/27	2,606,446	15,807	0.61%

・配信エリア：東京・埼玉・千葉・神奈川・茨城・栃木・群馬・山梨・長野・富山・新潟・静岡・愛知・岐阜、

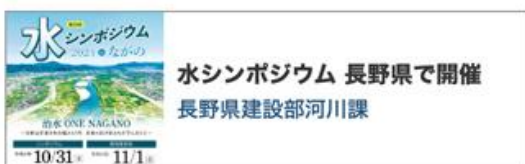
・年齢：20歳～、性別：すべて、目的：WEBサイトへの誘導

広告開始	広告終了	表示数	クリック数	クリック率
2024.9/28	2024.10/18	5,962,405	23,081	0.39%

バナー広告



レスポンシブル広告



【広報宣伝】

●信濃毎日新聞広告

掲載日 : 2024年10月13日 (日)

紙面 : 「台風19号災害から5年」編集特集記事下

広告枠 : 2段1/4・カラー (全県版)

【広告デザイン】

第28回
水シンポジウム
2024 in ながの
治水 ONE NAGANO
～令和元年東日本台風から5年 未来に向け私たちが学んだこと～

10/31 木 長野市若里市民文化ホール
時間 /13:00～17:30(開場 11:30)

特別講演 長野県立歴史館 特別館長 笹本 正治氏
基調講演 東京大学大学院 客員教授 松尾 一郎氏

入場無料

主催:「第28回水シンポジウム2024 in ながの」実行委員会

【掲載紙面】

17 2024年10月13日 日曜日

台風19号被災地の復興を支援する
「人工的に制御」実現なるか
日本の専門家「台風科学研究所」
「人的被害をゼロにしたい」
台風19号被災地の1日も早い復興をお祈りしております。
わたしたちはこれからも防災減災に携り続けます。

台風の4つの進路と県内への影響
2019年の台風19号
短期間で日本に発生地点が北上
県東側を通過 東北信で雨量多く

学び備える
千曲川
相次ぐ豪雨特徴は最新の研究は
台風の進路は4パターン
県内への影響は専門家が解説

一緒にずっと。安心をもっと。
住友生命
共済火災

いざという時のために 保険・共済で備えよう。
土砂崩れ
水害
MORIYA 緑守 合資会

人と、未来の水を守る。
「壊れたら買い替える」から「壊れたら直して使う」へ
トーヨークリエイト株式会社

【参考資料】

「第 28 回 水シンポジウム 2024 in ながの」 実行委員会規約

(名称)

第1条 本会は、「第28回水シンポジウム2024 in ながの」実行委員会(以下、「実行委員会」という。)と称する。

(目的)

第2条 実行委員会は、「第 28 回水シンポジウム 2024 in ながの」(以下、「水シンポジウム」という。)の円滑かつ効果的な開催を図ることを目的とする。

(実行委員会)

第3条 実行委員会は、水シンポジウムの開催及び運営に関する企画事項の決定を行うものとし、実行委員は別表1に掲げる者若しくは職にある者をもって充てる。

2 実行委員長は、土木学会水工学委員会委員長の職にある者をもって充てる。

3 実行委員長は、会務を総括し、実行委員会を代表する。

4 実行委員会には、顧問を置くことができる。

5 顧問は、実行委員会の活動に際し、指導と助言を行うものとする。

6 実行委員会の会議は、実行委員長が招集するものとし、会議の議長は実行委員長が務める。ただし、実行委員長に事故等のあるときは、あらかじめ実行委員長が指名する実行委員がその職務を代行する。

7 実行委員長が必要と認めたときには、実行委員長の指名した者を実行委員に追加・変更することができる。

(事務局)

第4条 実行委員会の事務を処理するため、事務局を置く。

2 事務局員は別表2に掲げる者若しくは職にある者をもって充てる。

3 事務局長は、長野県建設部河川課長の職にある者をもって充てる。

4 事務局長が必要であると認めたときには、事務局長が追加・変更した者を事務局が行う会議に参加させることができる。

5 事務局は、長野県建設部河川課に置く。

(経費)

第5条 実行委員会の経費は、分担金その他の収入をもって充てる。

2 経費の精算は、事業終了後に行う。

(監事)

第6条 監事は、実行委員会の会計を監査するものとし、北陸地方整備局千曲川河川事務所長の職にある者をもって充てる。

(任期)

第7条 実行委員、顧問、監事の任期は、この実行委員会が解散するまでとする。

(その他)

第8条 この規約に定めるもののほか、水シンポジウムの開催に関し必要な事項は、実行委員会に諮り、実行委員会の委員長がこれを定める。

附則 この規約は、令和5年 10月 27日から施行する。

【参考資料】

「第28回水シンポジウム2024 in ながの」実行委員及び事務局員名簿

別表-1 実行委員会（◎実行委員長）

	機関名	役職名	氏名	備考
◎	土木学会水工学委員会	委員長	泉 典洋	北海道大学
	土木学会水工学委員会	幹事長	佐山 敬洋	京都大学
	土木学会水工学委員会	基礎水理部会長	高橋 正行	日本大学
	土木学会水工学委員会 （令和元年台風19号豪雨災害調査団中部・北陸地区） 信州大学地域防災減災センター	地区団長 地域連携部門長	吉谷 純一	信州大学
	北陸地方整備局河川部	河川部長	木村 勲	
	北陸地方整備局千曲川河川事務所	所長	浅見 和人	
	長野県建設部	部長	新田 恭士	
	長野市建設部	部長	横田 典久	
	長野SDGs地域防災プロジェクト		高橋 修一	

別表-2 事務局（●事務局長）

	機関名	役職名	氏名	備考
	土木学会水工学委員会	幹事長	佐山 敬洋	京都大学
	信州大学工学部	教授	吉谷 純一	信州大学 令和元年台風19号豪雨 災害調査団団長
	信州大学工学部	准教授	豊田 政史	信州大学 令和元年台風19号豪雨 災害調査団幹事
	信州大学工学部	特任准教授	木戸 研太郎	
	信州大学地域防災減災センター	特任助教	神田 孝文	
	北陸地方整備局河川計画課	河川計画課長	板倉 舞	
	北陸地方整備局千曲川河川事務所	副所長	山邊 満	
●	長野県建設部河川課	河川課長	江守 護	
	長野市建設部河川課	河川課長	栗野 洋	
	長野SDGs地域防災プロジェクト		岡島 健	

第 28 回水シンポジウム 2024 in ながの 企画書（全体）

令和 6 年 6 月時点

○メインテーマ

治水 ONE NAGANO

～令和元年東日本台風から 5 年 未来に向け私たちが学んだこと～

趣旨

- ・長野県において、毎年のように豪雨による災害が発生している中で、特に、甚大な被害となったのが、令和元年東日本台風である。
長野県では、被災直後から早期復旧・復興に全力で取り組むとともに、この災害を契機に、「治水 ONE NAGANO」を宣言し、国・県・市町村・民間企業・住民が協働して水害を軽減させる流域治水の取り組みを推進している。
- ・令和 6 年度は災害発生から 5 年という節目の年であり、本シンポジウムを通じて、災害からの復旧・復興や流域治水に係る長野県の特徴的な取組などを全国へ発信し、今後の防災・減災について発信したい。

○主催

- ・「第 28 回水シンポジウム 2024 in ながの」実行委員会
構成団体：公益社団法人土木学会水工学委員会、信州大学工学部流域治水研究センター
国土交通省北陸地方整備局、長野県、長野市、長野 SDGs 地域防災プロジェクト

○助成

- ・（公財）河川財団（河川基金）、（一財）防災研究協会、（一社）北陸地域づくり協会

○後援

- ・信州大学地域防災減災センター、長野県河川協会

○開催日時及び会場

・シンポジウム

令和 6 年 10 月 31 日（木）13 時から

会場：長野市若里市民文化ホール（収容人数約 600 人）

・現地見学会

令和 6 年 11 月 1 日（金）9 時から

想定人数：40 人

移動手段：マイクロバス 2 台

見学場所：日本無線（株）→NiKKi Fron（株）浅川排水機場→妙笑寺
千曲川穂保

○来賓

- ・長野県知事（ビデオメッセージ予定）
- ・長野市長
- ・国土交通省北陸地方整備局長（代理予定）

○シンポジウム講演予定

講演

- ・松尾一郎教授
『コミュニティ防災の支援ツールとしてのタイムライン
～タイムライン導入 10 年、命を守った事例とこれから～』 (長野の特徴的な取組)
- ・笹本正治 県立歴史館特別館長
『長野県の水害と伝承』 (歴史文化)

事業報告

- ・吉谷純一教授
『土木学会水工学委員会による令和元年千曲川災害調査』 (災害の状況)

事例紹介

- ・SDGs 地域防災プロジェクト (日本無線 (株))
『小学生を対象とする防災・ラジオ工作教室』 (産学共同取組)
- ・一般財団法人日本笑顔プロジェクト (小布施町浄光寺の林映寿副住職)
『平時を楽しみ！有事に備える！』 (住民取組)
- ・NiKKi Fron 株式会社
『水害経験からのレジリエンスとサステナブル経営への取組』 (復興)
- ・長野県
『流域治水の取組』 (流域治水) (国・県・市の連携)

話題提供

- ・高橋教授 (土木学会水工学委員会基礎水理部会長)
『暮らしを支える水理学概説』 (水理学)

○その他

CPD 認定

- ・シンポジウム及び現地見学会参加者へ土木学会 CPD を認定する。

展示

展示対象は広く水に関連するもの ((治水、環境、利水、住民取組など) ※公募

- ・パネル展示 (ホワイエ) 40 枚程度 ※無料
- ・ブース展示 (会議室等) 9 ブース ※3 万円/ブース (1 ブース 2.0m×2.7m)

配信

- ・オンデマンド配信

懇親会

- ・ホテル立食形式で実施予定 (100 人想定) ※7000 円/人

広報

- ・チラシ、ポスター、ホームページ、SNS (Instagram・Facebook) 広告、
Google ディスプレイ広告
※7 月より広報開始予定

○シンポジウムプログラム

令和6年10月31日(木)

シンポジウム

11:30	開場 (開会まで展示見学可能)	
13:00	開会	
13:30	特別講演【笹本館長】	(25分+質疑5分)
14:00	基調講演【松尾教授】	(50分+質疑5分)
14:55	休憩 (展示見学可能)	(30分)
15:25	話題提供【高橋教授】	(10分+質疑5分)
15:40	事業報告【吉谷教授】	(10分+質疑5分)
15:55	事例紹介【笑顔プロジェクト】	(15分+質疑5分)
16:15	事例紹介【NiKKi Fron (株)】	(15分+質疑5分)
16:35	事例紹介【SDGs 地域防災プロジェクト】	(15分+質疑5分)
16:55	事例紹介【長野県】	(10分+質疑5分)
17:10	総括【泉委員長他】	(10分)
17:20	次回開催県挨拶【山梨県】	(10分)
17:30	閉会 (18時まで展示見学可能)	

懇親会

18:30～ ホテルメトロポリタン長野 (立食形式)

令和6年11月1日(金)

現地見学会 (詳細な時間は今後調整)

9:00	長野駅東口出発 (8:50 集合)	
9:20	日本無線 (株)	【防災機器に要求される性能を学ぶ】
10:50	出発	
11:30	昼食 (千曲の郷)	
12:20	出発	
12:30	NiKKi Fron (株)	【製造業における水害への備えや対応を学ぶ】
13:40	出発	
13:55	浅川排水機場	【排水機場が果たす治水上の役割を学ぶ】
14:25	出発	
14:40	妙笑寺	【水害史や令和元年災害状況を学ぶ】
15:40	出発	
15:50	千曲川穂保 (防災ステーション含む)	【粘り強い堤防を学ぶ】
16:20	出発	
17:10	長野駅東口解散	

会場レイアウト及び展示計画

○会場

- ・長野市若里市民文化ホール（長野県長野市若里3丁目22-2）
アクセス：JR 長野駅東口から徒歩25分 バス運行有
収容人数：ホール（606席 13列バリアフリー）
- ・当日は公共交通機関での来場を想定（来場者用駐車場なし）



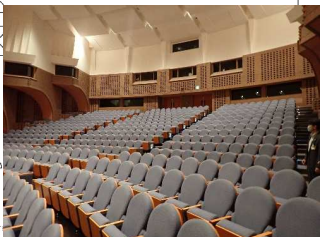
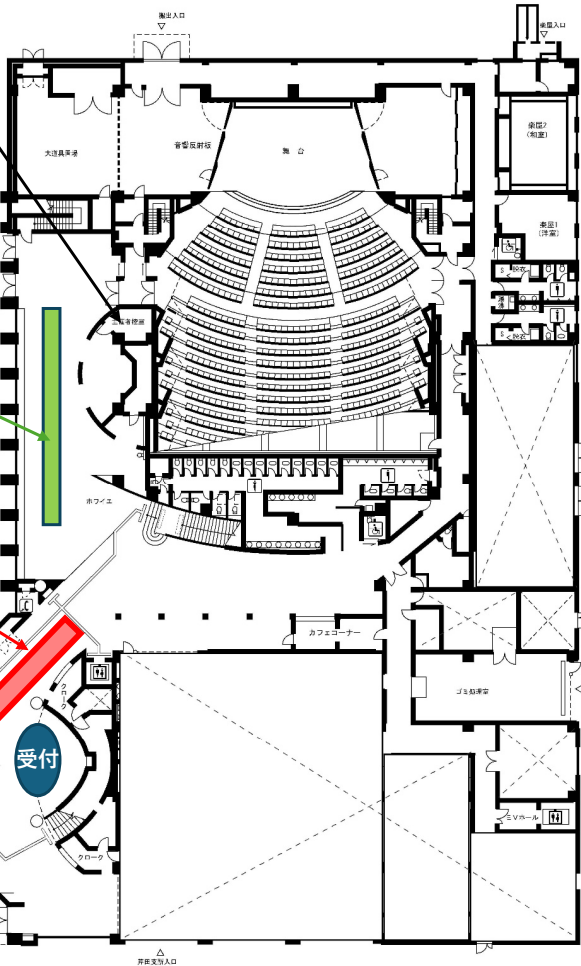
若里市民文化ホール1階平面図



司会者控室

パネル展示②

パネル展示①



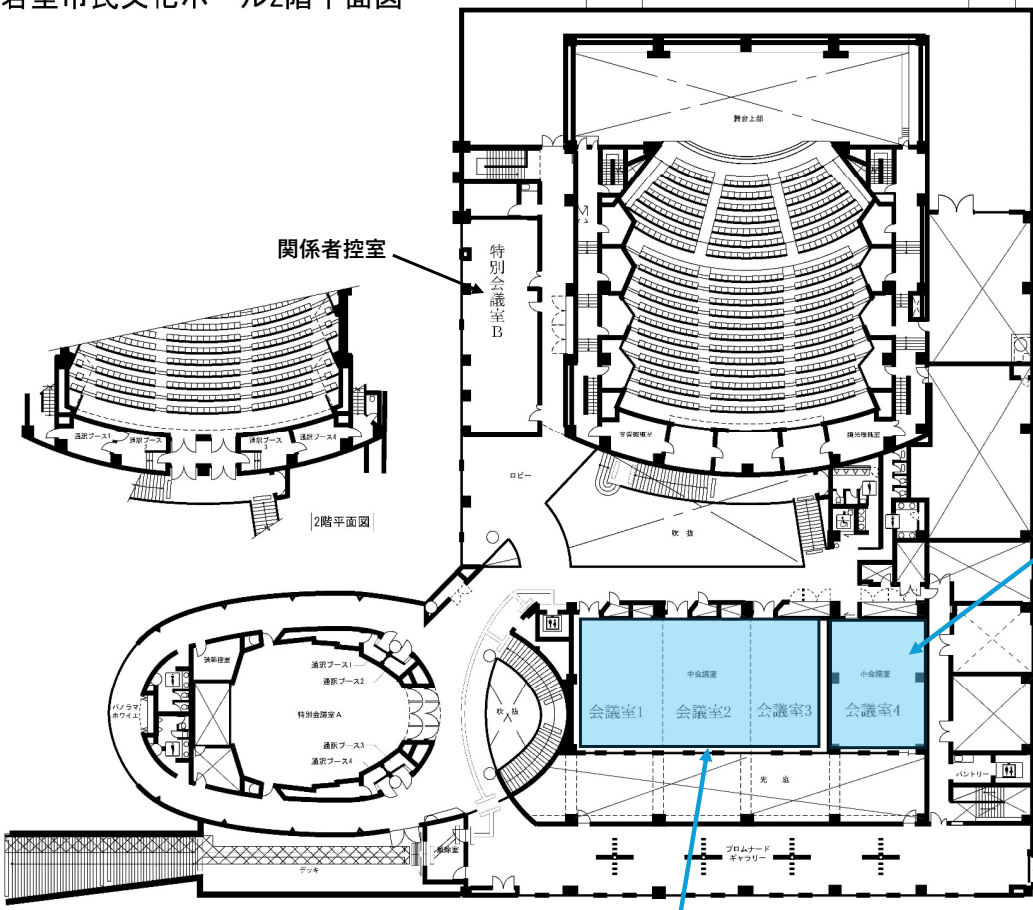
若里市民文化ホール2階平面図



関係者控室

ブース展示 (会議室1室) ※2社想定

ブース展示 (会議室3室をつなげる) ※7社想定

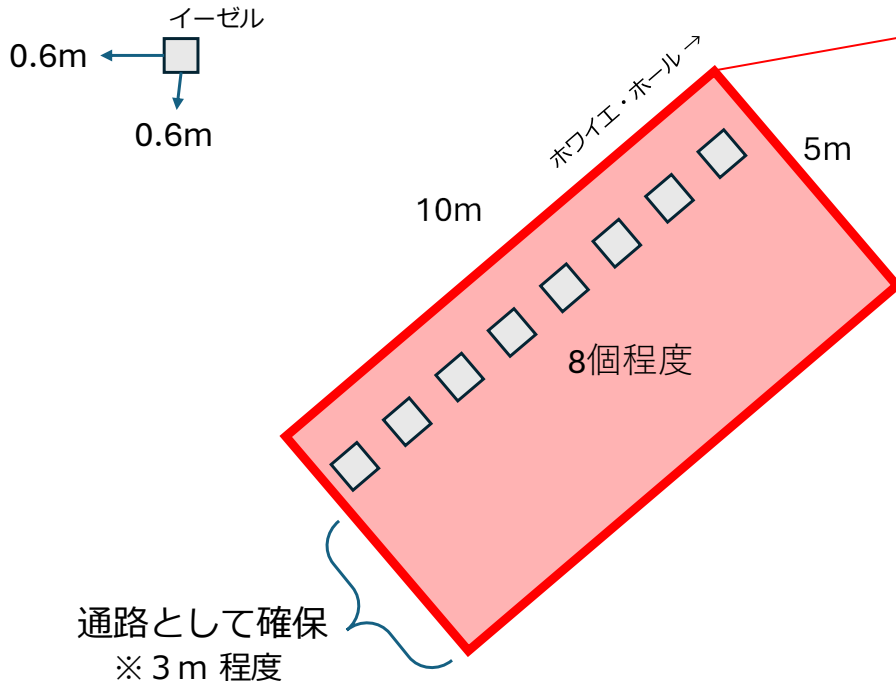


- ♂ 男子トイレ
- ♀ 女子トイレ
- ♿ 身障者用トイレ
- 🚪 エレベーター

エントランスホール

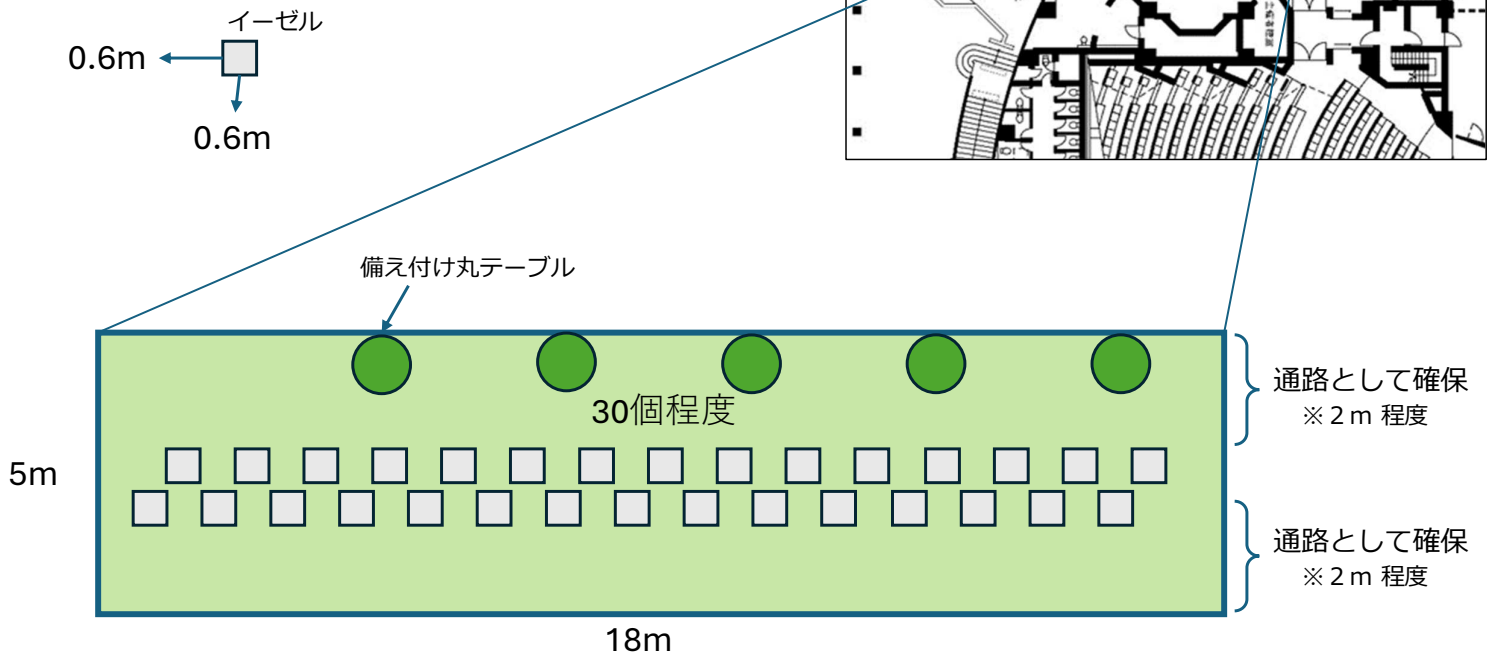
パネル展示① レイアウト

※幅600×奥行610×高さ1260mmのイーゼルを想定



ホワイエ パネル展示② レイアウト

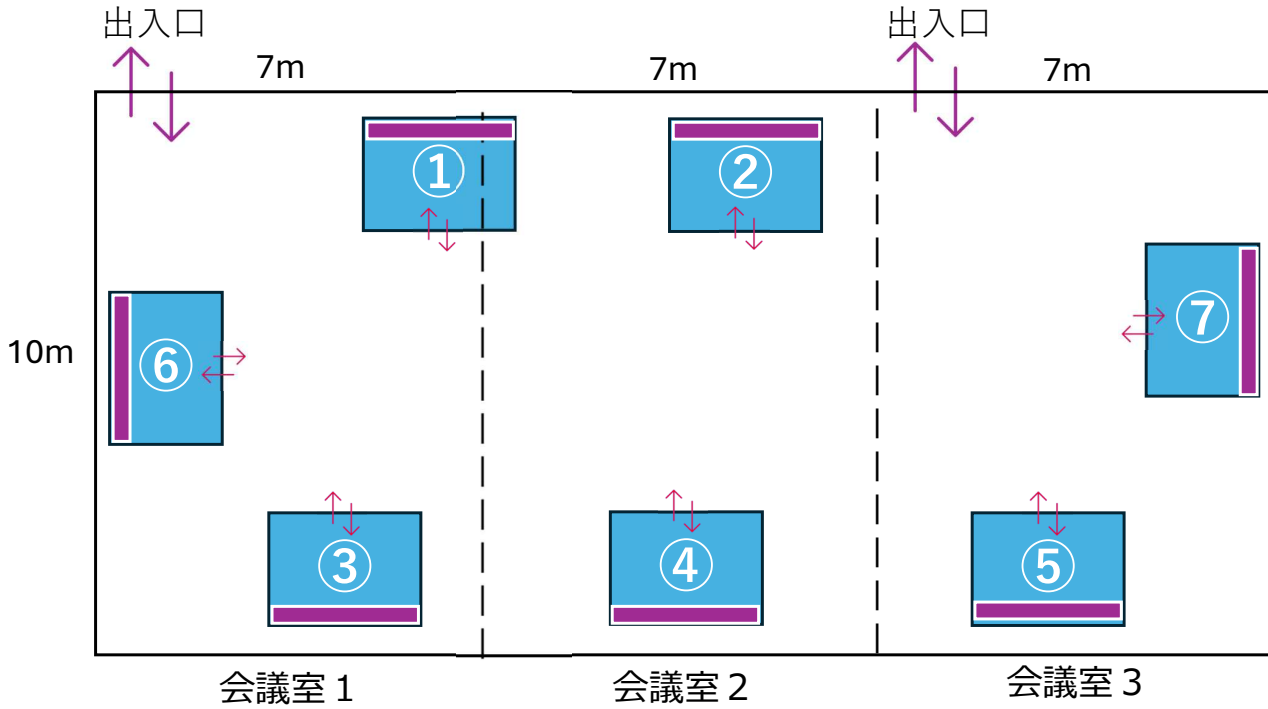
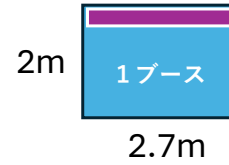
※幅600×奥行610×高さ1260mmのイーゼルを想定



ブース展示 レイアウト案 (会議室 1～3)

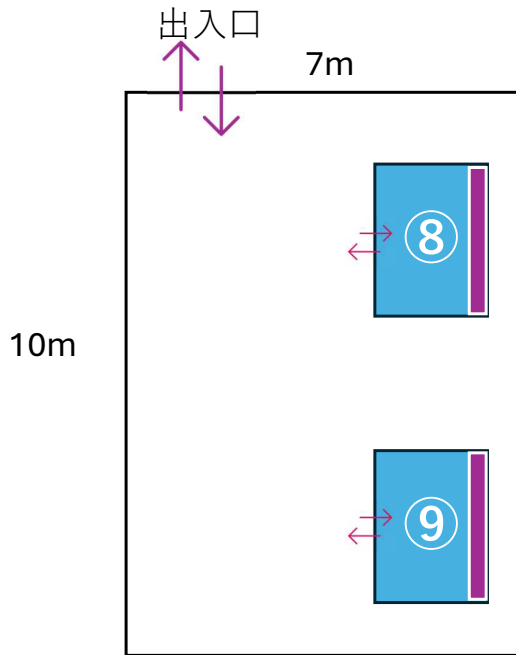
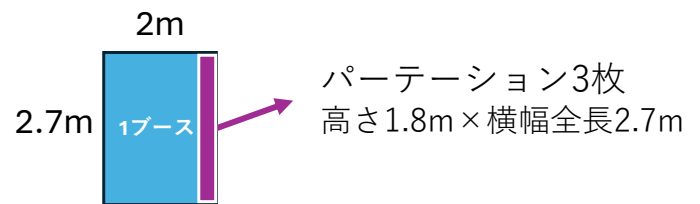
※各ブースに、パーティション3枚・長机1台・椅子2脚を用意
それ以外は、出展者が手配
※先着順で出展場所①～⑨を決める予定

パーティション3枚
高さ1.8m×横幅全長2.7m



ブース展示 レイアウト案 (会議室 4)

※各ブースに、パーティション3枚・長机1台・椅子2脚を用意
それ以外は、出展者が手配
※先着順で出展場所①～⑨を決める予定



会議室4

展示料

パネル展示は展示料徴取無し（佐賀同様）

ブース展示①～⑨

展示料3万円／団体

収入見込

27万円（広報費に活用予定）

出展者

対象：広く水に関連するもの
（治水、環境、利水、住民取組など）

パネル展示：公募

ブース展示：公募

※集まらなければ、声掛け



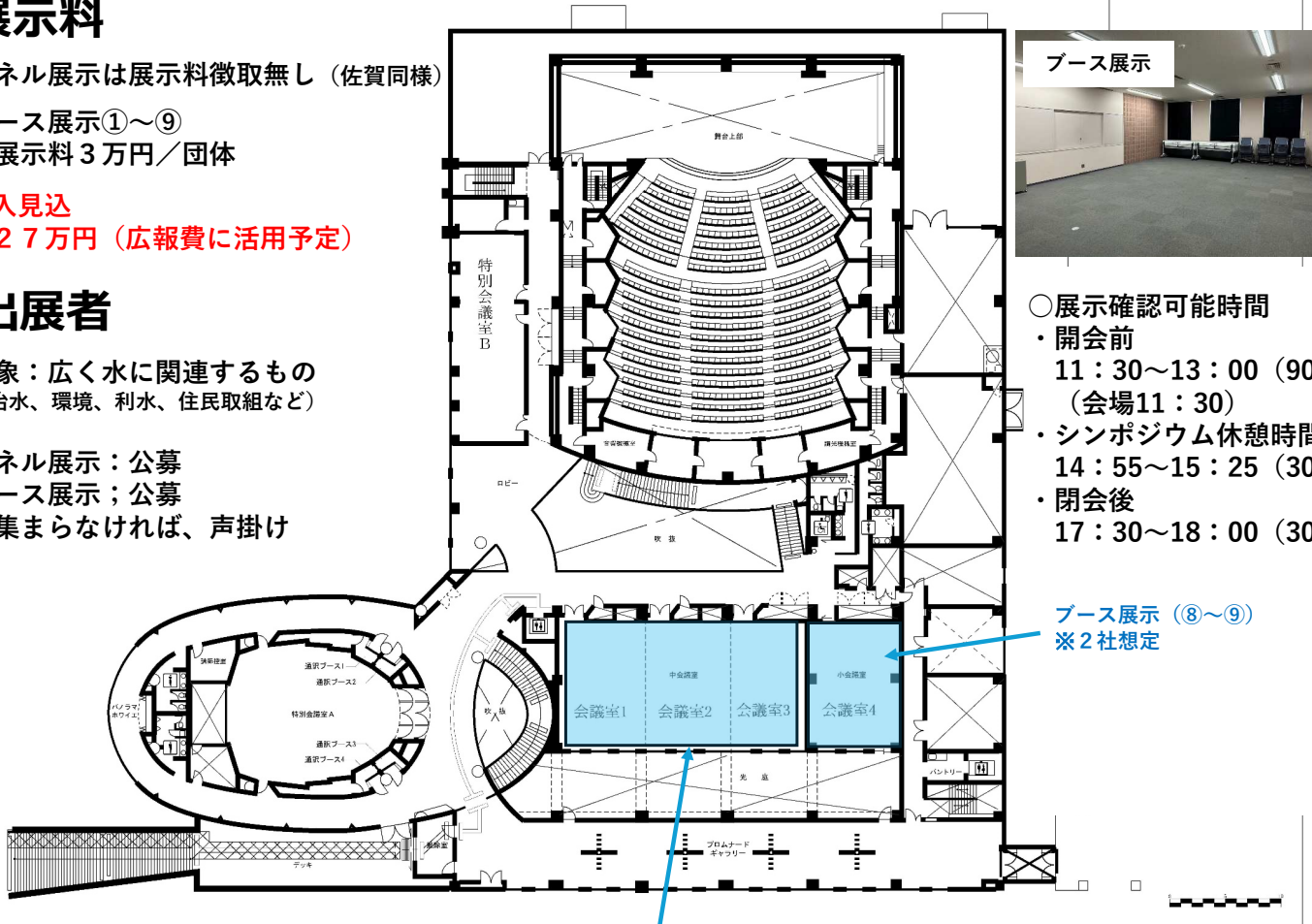
ブース展示

○展示確認可能時間

- ・開会前
11：30～13：00（90分）
（会場11：30）
- ・シンポジウム休憩時間
14：55～15：25（30分）
- ・閉会后
17：30～18：00（30分）

ブース展示（⑧～⑨）
※2社想定

ブース展示（①～⑦）※7社想定



水シンポジウム現場見学会企画書

○開催日時

令和6年11月1日（金）

終日

○企画（案）

募集人数

40名程度（マイクロバス2台）

視察先 ※（ ）内は説明者

・参加者は、バス移動を想定

候補①：県立歴史館（施設管理者）

※長野県の歴文化等

候補②：長野市立博物館（施設管理者）

※長野県の歴史文化等

候補③：歴史的な水害史料活用研究会（担当者）

※長野県の歴史文化

歴史文化

候補④：上今井遊水地（国）

※千曲川 信濃川水系緊急治水対策プロジェクト

候補⑤：千曲川穂保地区（国）

※千曲川 災害復旧関係

候補⑥：立ヶ花河道掘削（国）

※千曲川 災害復旧関係

候補⑦：河川防災ステーション（国）

※千曲川 信濃川水系緊急治水対策プロジェクト

災害復旧

治水対策

候補⑧：浅川ダム（県）

※流水型ダム

候補⑨：浅川第4排水機場（県）

※浅川 信濃川水系緊急治水対策プロジェクト

候補⑩：岡田川排水機場（県）

※岡田川 信濃川水系緊急治水対策プロジェクト

候補⑪：浅川大池（県）

※流域治水の取組（ため池雨水貯留）

長野県の特徴的な取組

候補⑫：日本無線工場見学（日本無線）

※企業の研究内容紹介、工場見学

候補⑬：NiKKi Fron 工場見学（NiKKi Fron）

※工場見学

候補⑭：日本笑顔プロジェクト

※取組見学

企業、住民の取組

候補⑮：体験型防災学習（信大、日本無線）

※マイタイムライン作成

未来への取組

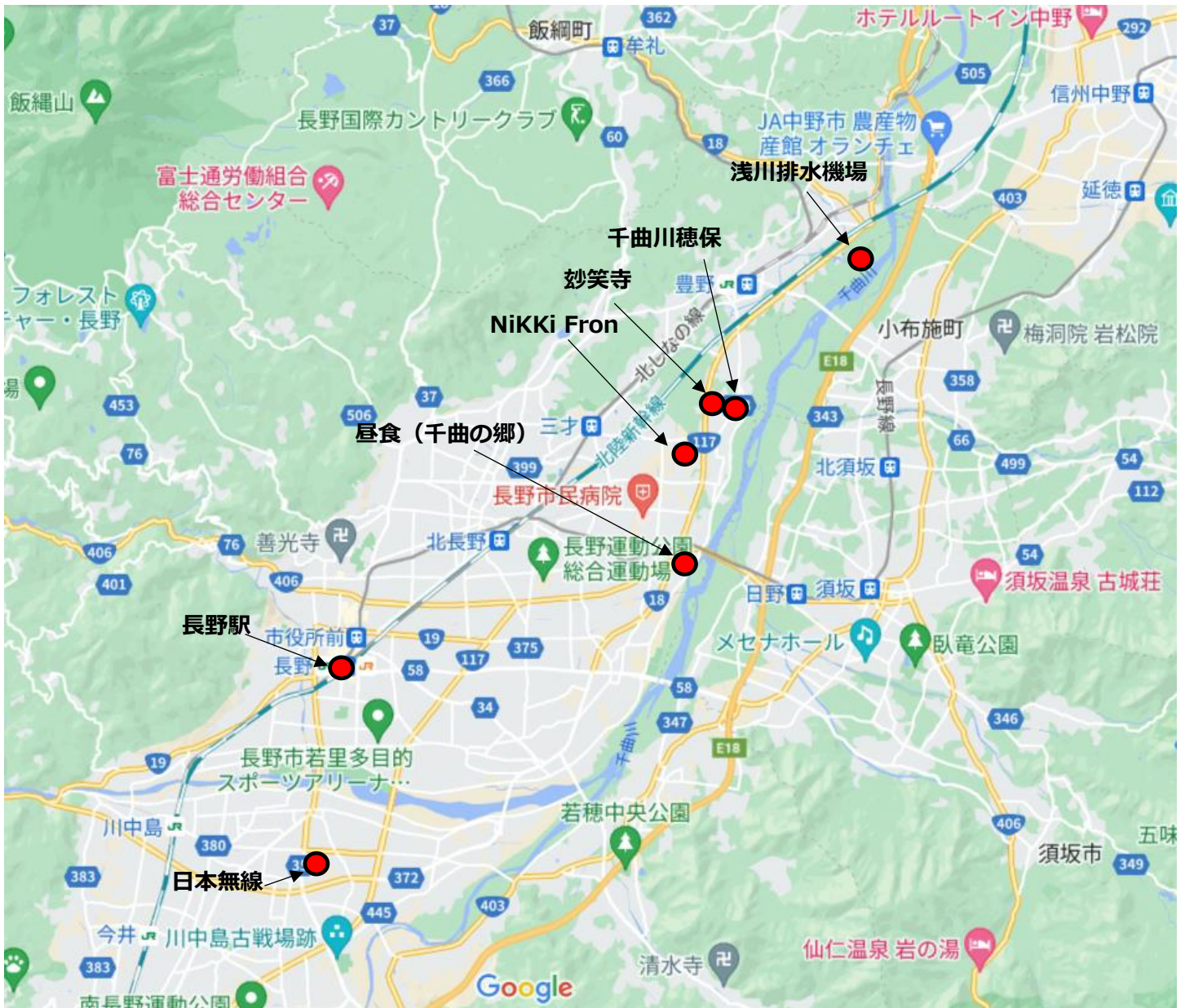
○行程

事務局案

- 8:50 長野駅東口集合
9:00 出発
9:20 日本無線 (株) 【企業見学】
10:50 出発
11:30 昼食 (千曲の郷) 【昼食】
12:20 出発
12:30 NiKKi Fron (株) 【企業見学】
13:40 出発
13:55 浅川排水機場 【現場見学】
14:25 出発
14:40 妙笑寺 (歴史的水害史料活用研究会展示) 【展示見学】
15:40 出発
15:50 千曲川穂保 (防災ステーション含む) 【現場見学】
16:20 出発
17:10 長野駅東口解散

【視察箇所】

- 千曲の郷
・40人収容の座敷
・和食 (釜めし)
・想定料金：2000円/人



水シンポジウム広報計画

○水シンポジウム対象者

- ・ 県内外の一般の方（水に関心を持たない人も含めて）
- ・ 年齢層は幅広く（若年層～高齢層）

○広報開始時期

令和6年7月上旬から

○広報計画

広報媒体（全体予算に応じて、追加投資を検討）

・ポスター【実施予定】

メリット : 視認性があり、インパクトを与えられる。

掲示中に繰り返し見てもらえるため、費用を抑えられる。

金額 : 95,000 円（650 枚/B2/片面フルカラー/コート/135kg/デザイン費込）

展開方法 : 配布、掲示（各機関のつながりを活用）

土木学会→学会、国→各地整、県→都道府県、県内市町村
市→市内住民、講演者→関係者

・チラシ【実施予定】

メリット : エリアやターゲットを絞った訴求が可能。保存性がある。

イベントの詳細内容を、図やテキストで告知できる。

金額 : 130,000 円（10,000 枚/A4/両面フルカラー/コート/90kg/デザイン費込）

展開方法 : 展開方法はポスターと同様

・ホームページ【実施予定】

メリット : 情報を集約しての告知が可能。公式で実施するイベントだと認知される。

金額 : 250,000 円

展開方法 : SNS、ネット広告、チラシとポスターへの QR コード印字

・Instagram、Facebook 広告【(予算に応じて) 実施予定】

メリット : ユーザーが多く、接触率が高い。

Facebook→実名登録の正確なプロフィール情報に基づいた
ターゲティングがしやすい。

Instagram→イラストや写真により視認性が高い。

ユーザーの興味・関心に合わせたターゲティングが可能。

金額 : 100,000 円～（初期設定費・設定費・運用費を含む）

展開方法 : SNS

・Google ディスプレイ広告【(予算に応じて) 実施予定】

メリット : 県内外を問わず訴求が可能。リーチコストが低い。

ホームページへの誘導が可能。

効果測定が数値で明確に可能。

金額 : 150,000 円～（初期設定費・バナー制作費・運用費を含む）

展開方法 : インターネット

第28回水シンポジウム2024inなごの 実行委員会 活動報告

年 月	会議名		主な議題	備考
	実行委員会	事務局会議		
令和5年				
5月	事前協議		土木学会より協力依頼(→長野県)	
5月	事前協議		土木学会より協力依頼(→北陸地方整備局千曲川河川事務所)	
8月3日、4日			第27回水シンポジウム2023 in さが 開催	
~8月	事前協議		実行委員会メンバーの選出(内諾) ・土木学会、国交省(地整・各事務所)、長野市等	
10月4日	準備会		・実行委員会の規約、構成員の確認 ・開催日程、会場の検討 ・必要経費、予算の確認 ・水シンポジウムの構成検討	
10月18日	①		・実行委員会の設立 ・開催日程、会場の決定	第1回実行委員会 (書面開催) 【10月27日承認】
11月14日			河川財団 助成金申請	水工学委員会
12月19日		①	・水シンポジウムの構成案、メインテーマ案、予算(案)の検討 ・講演等の企画提案 ・運営支援業務委託発注方法の検討	第1回事務局会議
1月~			講演者への事前確認	
1月26日		②	・水シンポジウムの構成案、メインテーマ案、予算(案)の検討 ・講演等の企画提案 ・運営支援業務委託発注方法の検討	第2回事務局会議 (書面開催) 【2月2日意見集約】
2月13日		②	・水シンポジウムの構成案、メインテーマ案の審議 ・予算案の審議 ・講演等の企画提案の審議 ・運営支援業務委託発注方法の審議	第2回実行委員会
2月20日			防災研究協会 助成金申請(開催の6ヶ月前まで)	水工学委員会
3月下旬			運営支援業務委託 業者選定	
令和6年度				
4月~			講演者への依頼	
4月			運営支援業務委託契約	
4月26日		③	・講演等の企画検討 ・現地見学会の企画検討 ・広報計画及び会場レイアウトの検討	第3回事務局会議
5月31日		④	・講演等の企画検討 ・現地見学会の企画検討 ・広報計画及び会場レイアウトの検討	第4回事務局会議
6月13日		③	※開催内容の最終決定 ・講演の内容 ・現地見学会の内容 ・広報計画及び会場レイアウト	第3回実行委員会
7月26日~			広報開始(HP公開、参加者募集開始)	
9月12日		⑤	・参加者の把握 ・シンポジウム当日の実施計画等	第5回事務局会議
10月中旬			当日運営の最終確認	
10月31日(木) AM			会場準備及び各種リハーサル	
10月31日(木) PM			水シンポジウム	
11月1日(金)			水シンポジウム(現地見学会)	
1月23日	実行委員長 報告		・予算収支の報告 ・水シンポジウム報告書の確認	
2月13日			決算報告、監査	千曲川河川事務所長 監査
2月19日		④	決算報告 水シンポジウム報告書の審議 シンポジウム完了(実行委員会解散)	第4回実行委員会 (書面開催) 【2月28日承認】
3月下旬			河川基金助成事業(完了)報告(報告期限:4月中)	水工学委員会